



**Cisco Unified IP Phone 7906G/7911G  
ユーザ ガイド for Cisco Unified  
Communications Manager 8.5(1)  
(SCCP および SIP)**

**Cisco Unified IP Phone 7906G and 7911G User Guide for  
Cisco Unified Communications Manager 8.5(1) (SCCP  
and SIP)**

**【注意】** シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意  
([www.cisco.com/jp/go/safety\\_warning/](http://www.cisco.com/jp/go/safety_warning/)) をご確認ください。

本書は、米国シスコシステムズ発行ドキュメントの参考和訳です。  
リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップ  
デートがあり、リンク先のページが移動 / 変更されている場合があ  
りますことをご了承ください。

あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サ  
イトのドキュメントを参照ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊  
社担当者にご確認ください。

# Contents

---

はじめに	1
このガイドの使用方法	1
追加情報の入手	2
Cisco Unified IP Phone 7900 シリーズ e-ラーニング チュートリアルへのアクセス	2
安全性とパフォーマンスに関する情報	2
シスコ製品のセキュリティ	3
アクセシビリティ機能	4
<b>電話機の接続</b>	<b>5</b>
<b>電話機の概要</b>	<b>9</b>
ボタンとハードウェアについて	9
回線と通話について	11
回線とコールのアイコンについて	11
アプリケーションメニューへのアクセス	12
電話機のヘルプシステムへのアクセス	12
機能の Availability について	13
SIP と SCCP について	13
<b>基本的なコール処理</b>	<b>15</b>
コールの発信：基本的なオプション	15
コールの発信：その他のオプション	16
コールへの応答	18
コールの終了	20
コールの保留と復帰	20
コールのミュートとミュート解除	21
複数のコールの切り替え	21
進行中のコールの他の電話機への切り替え	22
複数のコールの表示	22
コールの転送	23

ボイス メッセージ システムへのコールの送信	23
別の電話番号へのコールの転送	24
サイレントの使用方法	25
会議コールの使用方法	27
会議の各機能の使用方法	27
会議機能の使用方法	28
参加機能の使用方法	28
C 割り込みの使用方法	29
ミーティングの使用方法	29
会議参加者の表示または削除	30
<b>応用的なコール処理</b>	<b>31</b>
スピードダイヤル	31
自分の電話機で他の電話機の着信に応答	33
パークされているコールの保存と取得	34
ハント グループからのログアウト	35
共有回線の使用	36
共有回線について	36
割り込みの使用による共有回線のコールへの参加	37
割り込み機能について	37
割り込み機能の使用方法	37
他者による共有回線のコールの表示および割り込みの防止	38
安全なコールの送受信	39
不審なコールのトレース	41
重要なコールの優先順位付け	41
Cisco エクステンション モビリティの使用方法	43
1 つの電話番号を使用したビジネス コールの管理	45
<b>ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカの使用方法</b>	<b>49</b>
グループ リッスン機能の使用方法	49
モニタ機能の使用方法	50
ヘッドセットの使用	51
自動応答の使用	51

<b>電話機の設定の変更方法</b>	<b>53</b>
呼出音およびメッセージ インジケータのカスタマイズ	53
電話スクリーンのカスタマイズ	54
<b>履歴およびディレクトリの使用方法</b>	<b>57</b>
履歴の使用方法	57
ディレクトリ ダイヤリング	61
電話機での社内ディレクトリの使用方法	61
電話機でのパーソナル ディレクトリの使用方法	63
<b>ボイス メッセージへのアクセス</b>	<b>67</b>
<b>Cisco Unified CM ユーザ オプション Web ページの使用方法</b>	<b>69</b>
ユーザ オプション Web ページへのアクセス	69
Web での機能とサービスの設定	70
Web でのパーソナル ディレクトリの使用方法	70
Web での個人アドレス帳の使用方法	71
Web でのファスト ダイヤルの設定	72
アドレス帳同期ツールの使用方法	73
Web でのスピード ダイヤルの設定	74
Web での電話機サービスの設定	75
Web でのユーザ設定の制御	76
Web での回線設定の制御	77
モバイル コネクト用の電話機とアクセス リストの設定	80
Cisco WebDialer の使用方法	82
<b>追加の設定オプションについて</b>	<b>85</b>
<b>電話機のトラブルシューティング</b>	<b>87</b>
一般的なトラブルシューティング	87
電話機の管理データの表示	88
品質レポート ツールの使用	88

シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定 89

Index 91

# はじめに

## このガイドの使用方法

このガイドでは、電話機で使用可能な機能の概要について説明しています。電話機の機能について確実に理解するには、このガイドをよく読んでください。次の表に、よく使用される項目を示します。

目的	必要な操作
安全情報を参照する	「安全性とパフォーマンスに関する情報」(P.2)を参照してください。
電話機を接続する	「電話機の接続」(P.5)を参照してください。
設置後に電話機を使用する	「電話機の概要」(P.9)を参照してください。
電話機のボタンについて調べる	「ボタンとハードウェアについて」(P.9)を参照してください。
コールを発信する	「コールの発信：基本的なオプション」(P.15)を参照してください。
コールを保留にする	「コールの保留と復帰」(P.20)を参照してください。
コールを転送する	「コールの転送」(P.23)を参照してください。
会議コールを発信する	「会議コールの使用方法」(P.27)を参照してください。
スピードダイヤルを設定する	「スピードダイヤル」(P.31)を参照してください。
電話番号を共有する	「共有回線の使用」(P.36)を参照してください。
電話機のスピーカを使用する	「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカの使用方法」(P.49)を参照してください。
呼び出しの音量やトーンを変更する	「電話機の設定の変更方法」(P.53)を参照してください。
不在履歴を表示する	「履歴およびディレクトリの使用方法」(P.57)を参照してください。
ボイスメッセージを聞く	「ボイスメッセージへのアクセス」(P.67)を参照してください。

## 追加情報の入手

- WWW 上の次の URL から、シスコ製品の最新資料を入手できます。  
[http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/tsd\\_products\\_support\\_series\\_home.html](http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/tsd_products_support_series_home.html)
- シスコの Web サイトへは、次の URL からアクセスできます。  
<http://www.cisco.com/>
- 最新のライセンス情報については、次の URL にアクセスしてください。  
[http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/cuipph/all\\_models/openssl\\_license/7900\\_ssllic.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cuipph/all_models/openssl_license/7900_ssllic.html)
- 各国のシスコ Web サイト：  
www.cisco.com からシスコの各国語版 Web サイトにアクセスするには、Web ページの上部にある [Worldwide [change]] リンクをクリックします。

## Cisco Unified IP Phone 7900 シリーズ e-ラーニングチュートリアルへのアクセス

(SCCP 電話機のみ)。

Cisco Unified IP Phone 7900 シリーズの e-ラーニングチュートリアルでは、音声とアニメーションにより基本的なコール機能が説明されています。いくつかの電話機のモデルでは、お使いの PC から e-ラーニングチュートリアルにオンラインでアクセスできます。お使いの電話機のモデルの e-ラーニングチュートリアル（英語のみ）を探すには、次の場所でマニュアルの一覧を参照してください。

[http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/products\\_user\\_guide\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/products_user_guide_list.html)



---

**(注)** Cisco Unified IP Phone 7906G および 7911G には e-ラーニングチュートリアルが用意されていませんが、Cisco Unified IP Phone 7900 シリーズの e-ラーニングチュートリアルを参照すると、IP Phone に共通する機能の概要を学ぶことができます。

---

## 安全性とパフォーマンスに関する情報

停電およびその他のデバイスの Cisco Unified IP Phone への影響については、この項を参照してください。



## 停電

電話機で緊急サービスにアクセスできるかどうかは、電源が供給されている電話機に依存します。電源障害がある場合、電源が復旧するまで、利用および緊急コール サービス ダイヤルは機能しません。電源の異常および障害が発生した場合は、装置をリセットまたは再設定してから、利用および緊急コール サービスへのダイヤルを行う必要があります。

## 外部デバイスの使用方法

Cisco Unified IP Phone で外部デバイスを使用する場合、シスコでは、不要な Radio Frequency (RF; 無線周波数) および Audio Frequency (AF; 可聴周波数) がシールドされた高品質の外部デバイス (ヘッドセットなど) の使用を推奨しています。

これらのデバイスの品質や、携帯電話および双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音が入ることもあります。その場合は、次の方法で対処してください。

- RF または AF の信号源から外部デバイスおよびケーブルを離す。
- 外部デバイス用にシールドされたケーブルを使用するか、シールドおよびコネクタが高品質のケーブルを使用する。
- 外部デバイスのケーブルを短くする。
- 外部デバイスのケーブルに、フェライトまたは同様のデバイスを適用する。

シスコでは、外部デバイス、ケーブル、コネクタの品質については制御できないため、システム パフォーマンスの保証ができません。良品質のケーブルおよびコネクタを使用して適切なデバイスを接続すると、十分なシステム パフォーマンスを得られます。



### 注意

---

欧州連合諸国では、EMC Directive [89/336/EC] に完全に準拠したヘッドセットだけを使用してください。

---

## シスコ製品のセキュリティ

本製品には暗号化機能が備わっており、輸入、輸出、配布および使用に適用される米国および他の国での法律を順守するものとします。シスコの暗号化製品を譲渡された第三者は、その暗号化技術の輸入、輸出、配布、および使用を許可されたわけではありません。輸入業者、輸出業者、販売業者、およびユーザは、米国および他の国での法律を順守する責任があります。本製品を使用するにあたっては、関係法令の順守に同意する必要があります。米国および他の国の法律を順守できない場合は、本製品を至急送り返してください。

米国の輸出規制の詳細については、次の URL で参照できます。

[http://www.access.gpo.gov/bis/ear/ear\\_data.html](http://www.access.gpo.gov/bis/ear/ear_data.html)

# アクセシビリティ機能

Cisco Unified IP Phone 7900 シリーズは、視覚、聴覚、および運動が不自由な方向けにアクセシビリティ機能を用意しています。

これらの電話の詳細については、『*Accessibility Features for the Cisco Unified IP Phone 7900 Series*』を参照してください。

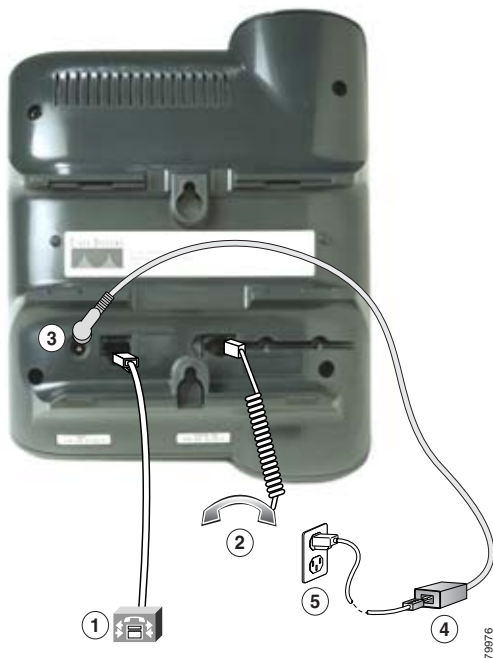
アクセシビリティの詳細については、次のシスコ Web サイトにも記載されています。

<http://www.cisco.com/web/about/responsibility/accessibility/index.html>

## 電話機の接続

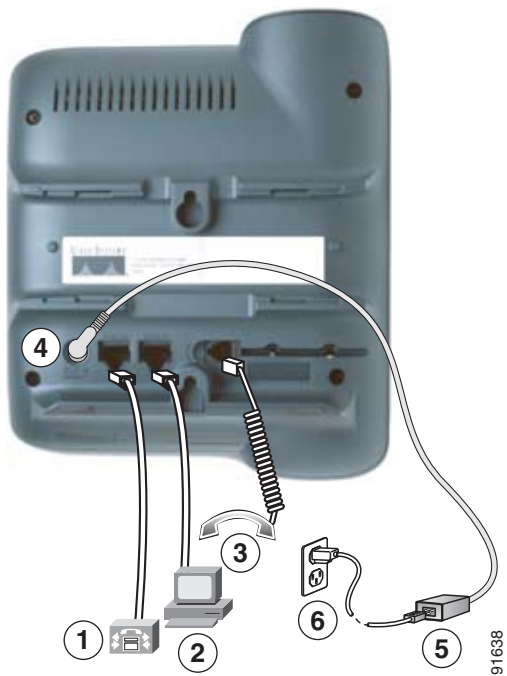
通常は、システム管理者が新しい Cisco Unified IP Phone を企業 IP テレフォニー ネットワークに接続します。それ以外の場合は、次の図を参照して、電話機を接続してください。

次の図および表は、Cisco Unified IP Phone 7906G の接続方法を示しています。



<b>1</b>	ネットワーク ポート (10/100 SW)	<b>4</b>	AC-DC 電源装置
<b>2</b>	受話器ポート	<b>5</b>	AC 電源コード
<b>3</b>	DC アダプタ ポート (DC 48 V)		

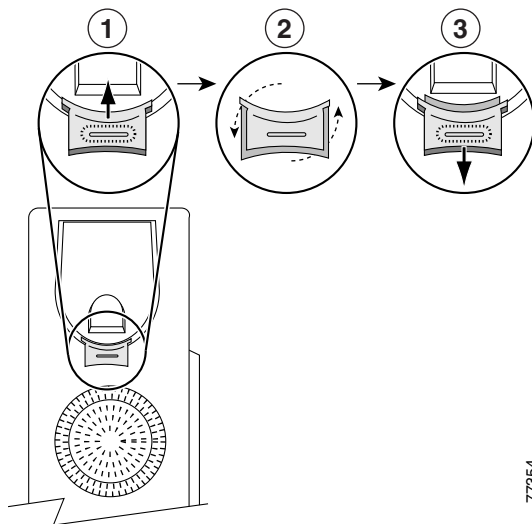
次の図および表は、Cisco Unified IP Phone 7911G の接続方法を示しています。



<b>1</b>	ネットワークポート (10/100 SW)	<b>4</b>	DCアダプタポート (DC 48 V)
<b>2</b>	アクセスポート (10/100 PC)	<b>5</b>	AC-DC電源装置
<b>3</b>	受話器ポート	<b>6</b>	AC電源コード

## ハンドセット受け台の調節

電話機を接続する際、ハンドセットが滑り落ちないように、受け台を調整できます。次の表に手順を示します。



77354

1	ハンドセットを外し、ハンドセットの受け台から四角いプラスチックのタブを引き出します。
2	タブを 180 度回します。
3	タブをハンドセットの受け台に再び差し込みます。回したタブの上部から突起が出ている状態になります。ハンドセットをハンドセットレストに戻します。

## TAPS を使用した登録

電話機をネットワークに接続した後、システム管理者が Tool for Auto-Registered Phones Support (TAPS; 内線番号自動登録システム) を使用して電話機の自動登録を指示する場合があります。TAPS は、新しい電話機にも、既存の電話機を置き換える場合にも使用できます。

TAPS に登録するには、ハンドセットを取り上げて、システム管理者から提供された TAPS 内線番号を入力し、ボイス プロンプトに従います。地域コードを含む、完全な内線番号を入力するように指示される場合があります。電話機に確認メッセージが表示されたら、ハンドセットを置きます。電話機が再起動します。

## ヘッドセットについて

シスコシステムズでは、Cisco Unified IP Phone で使用するサードパーティ製のヘッドセットについて社内で行ったテストを実施していますが、ヘッドセットまたはハンドセットのベンダーによる製品の動作の保証やサポートは行っていません。

シスコシステムズでは、不要な Radio Frequency (RF; 無線周波数) および Audio Frequency (AF; 可聴周波数) が遮蔽された高品質のヘッドセットなどの外部デバイスの使用を推奨しています。これらのデバイスの品質や、携帯電話および双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音やエコーが入ることもあります。またハム音が、相手方だけに聞こえる場合もあれば、Cisco IP Phone のユーザおよび相手方の両方に聞こえる場合もあります。ハム雑音やブザーのような雑音は、電灯、電気モーター、大型の PC モニタなど、外部ソースに原因があることがあります。詳細については、「[外部デバイスの使用方法](#)」(P.3) を参照してください。



---

**(注)** 場合によっては、ハム音は、ローカル電源キューブやパワー インジェクタを使用することにより、軽減または除去が可能です。

---

このように、Cisco Unified IP Phone の展開場所では、環境やハードウェアによるそれぞれ固有の不整合が発生する可能性があるため、すべての環境に適した単一のヘッドセットは存在しません。

ヘッドセットの購入を決定し多数展開する前に、それらのヘッドセットについて予想される環境でテストパフォーマンスを測定することを推奨します。

### 音質に対するユーザの主観

物理的、機械的、および技術的なパフォーマンスより先に、まずヘッドセットによって提供される音が、ユーザとリモートの通話相手にとって良質のものである必要があります。音質の判断は主観によるため、シスコが特定のヘッドセットのパフォーマンスを保証することは不可能です。しかし、大手メーカーのさまざまなヘッドセットについて、Cisco Unified IP Phone で良好に作動することが報告されています。詳細については、各メーカーのサイトを参照してください。

## 電話機の概要

Cisco Unified IP Phone 7906G および 7911G は、コンピュータで使用するデータ ネットワークで音声通信を行うためのすべての機能が搭載された電話機です。この電話機を使用してコールの発信および受信、保留、転送、会議コールの開設などの機能を使用できます。

基本的なコール処理の他に、Cisco Unified IP Phone 7906G および 7911G では、コール処理機能を拡張する特殊（詳細）なテレフォニー機能をサポートしています。設定に応じて、次がサポートされます。

- ネットワーク データ、XML アプリケーションおよび Web ベースのサービスへのアクセス
- 電話機能のオンライン カスタマイズおよび Cisco Unified CM ユーザ オプション Web ページからのサービス

## ボタンとハードウェアについて

電話機のボタンとハードウェアを特定するには、次の図を参照してください。



91031

	項目	説明	参照先または問い合わせ先
1	電話スクリーン	電話メニューおよびコール アクティビティ (発信者 ID、通話時間、コールの状態など) を表示します。	「アプリケーション メニューへのアクセス」 (P.12)、「機能のオペラビリティについて」 (P.13)
2	Cisco Unified IP Phone シリーズ	Cisco Unified IP Phone のモデル シリーズを示します。	—
3	ソフトキー ボタン	電話スクリーンに表示されているソフトキーのオプションをそれぞれアクティブにします。	—
4	ナビゲーション ボタン 	メニュー項目のスクロールや項目の強調表示に使用します。電話機がオンフックの場合、ユーザのスピードダイヤルを表示します。	「アプリケーション メニューへのアクセス」 (P.12)、「スピードダイヤル」 (P.31)
5	アプリケーション メニュー ボタン 	表示されるアプリケーション メニューにより、ボイス メッセージ システム、履歴とディレクトリ、各種設定、サービス、およびヘルプにアクセスできます。	「アプリケーション メニューへのアクセス」 (P.12)
6	保留ボタン 	アクティブなコールの保留、保留にしたコールの復帰、アクティブなコールと保留にしたコールの切り替えを行います。	「コールの保留と復帰」 (P.20)
7	キーパッド	電話番号のダイヤル、文字の入力、およびメニュー項目の選択に使用します。	「基本的なコール処理」 (P.15)
8	音量ボタン 	ハンドセット、ヘッドセット、スピーカ、および呼出音の音量を制御します。	「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカの使用方法」 (P.49)
9	ライト ストリップを備えたハンドセット	ハンドセットのライト ストリップは、着信コールまたは新しいボイス メッセージがあることを示します。	「ボイス メッセージへのアクセス」 (P.67)
10	フットスタンド	デスクやテーブルの上で、電話機の角度を使いやすいように調整できます。	—













## 回線と通話について

回線とコールについて混同しないために、次の説明を参照してください。

- 回線：各回線は、他者が自分へのコールに使用できる電話番号（または内線番号）にそれぞれ対応しています。電話機では、1つの回線をサポートできます。
- コール：1本の回線で複数のコールをサポートできます。電話機はデフォルトで最大6つの接続コールをサポートしますが、システム管理者はこの数を必要に応じて調整できます。アクティブとなり得るコールは常に1つに限定されるので、他のコールはすべて自動的に保留状態になります。






## 回線とコールのアイコンについて

電話機には、コールおよび回線の状態（オンフック、保留中、呼び出し中、接続中など）の判断に役立つアイコンが表示されます。





アイコン	コールまたは回線の状態	説明
	オンフック	この回線のコール アクティビティはありません。
	オフフック	電話番号のダイヤル中または発信コールの呼出音が鳴っている状態です。
	接続中のコール	通話相手に接続されている状態です。
	呼び出し中のコール	回線でコールの呼出音が鳴っています。
	保留されているコール	このコールが保留にされています。「 <a href="#">コールの保留と復帰</a> 」(P.20) を参照してください。
	リモート コールの保留	共有回線の別の電話機がコールを保留にしました。「 <a href="#">コールの保留と復帰</a> 」(P.20) を参照してください。
	リモートで使用	共有回線の別の電話機に接続コールがあります。「 <a href="#">共有回線について</a> 」(P.36) を参照してください。
	コールの復帰	保留コールが電話機に復帰しています。「 <a href="#">コールの保留と復帰</a> 」(P.20) を参照してください。
	認証済みコール	「 <a href="#">安全なコールの送受信</a> 」(P.39) を参照してください。
	暗号化されたコール	「 <a href="#">安全なコールの送受信</a> 」(P.39) を参照してください。

# アプリケーションメニューへのアクセス


電話機能にアクセスするには、アプリケーションメニューを使用します。

目的	必要な操作
アプリケーションメニューにアクセスする	 を押して、アプリケーションのリスト ([メッセージ (Messages)]、[ディレクトリ (Directory)]、[設定 (Settings)]、[サービス (Services)]、および [ヘルプ (Help)] ) を表示します。
リストまたはメニューをスクロールする	 を押します。
メニュー項目を選択する	 を押してメニュー項目を強調表示し、[選択 (Select)] を選択します。  または、メニュー項目の番号に対応するキーパッドの数字を押すこともできます。
メニューの1つ前のレベルに戻る	[終了 (Exit)] を押します。このとき、メニューの最上位レベルで [終了 (Exit)] を押すと、メニューが閉じます。
メニューを閉じる (そしてアプリケーションメニューに戻る)	[終了 (Exit)] を1回以上、メニューが閉じるまで押すか、または  を押します。
アプリケーションメニューを終了する	 または [終了 (Exit)] を押します。

## ヒント

 を押すと LED は緑色に変わり、アプリケーションメニューを使用している間は点灯しています 。または [終了 (Exit)] を押さずにアプリケーションの操作を終了する場合 (たとえば、新しいコールに応答する場合)、電話スクリーンが変わる場合がありますが、 ボタンは緑色のままです。もう一度  を押すと、使用していたアプリケーションが中断した時点から再開します。

## 電話機のヘルプシステムへのアクセス


Cisco Unified IP Phone 7906G および 7911G には、包括的なオンラインヘルプシステムが用意されています。電話機のヘルプを表示するには、 を押して、[ヘルプ (Help)] を選択します。

## 機能のアベイラビリティについて

電話機のシステム設定によって、この電話ガイドに記載されている機能がご使用の電話機で利用できない、または動作が異なる場合があります。操作方法や機能のアベイラビリティについては、お客様の社内のサポート デスクまたはシステム管理者にお問い合わせください。

## SIP と SCCP について

電話機は、Session Initiation Protocol (SIP) と Skinny Call Control Protocol (SCCP) のどちらかのシグナリング プロトコルに対応するように設定できます。この設定は、システム管理者が行います。

電話機能は、プロトコルによって異なります。この電話ガイドでは、どの機能がどのプロトコルに固有のものかを示します。電話機で使用されているプロトコルを知るには、システム管理者に問い合わせるか、電話機の  > [モデル情報 (Model Information)] > [コール制御プロトコル (Call Control Protocol)] を選択します。



## 基本的なコール処理

各種の機能およびサービスを使用して、基本的なコール処理タスクを実行できます。機能の Availability が異なる場合、詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

### コールの発信：基本的なオプション

ここでは、Cisco Unified IP Phone でコールを発信する簡単な方法を一部紹介します。

目的	必要な操作	参照先または問い合わせ先
コールを発信する	ハンドセットを取り上げ、番号をダイヤルします。	「電話機の概要」(P.9)
オンフックでダイヤルする (ダイヤル トーンあり)	[ 発信 (New Call) ] を押して、電話番号をダイヤルします。	—
番号をリダイヤルする	[ リダイヤル (Redial) ] を押します。	—
別のコールがアクティブなときにコールを発信する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.  を押します。</li> <li>2. [ 発信 (New Call) ] を押します。</li> <li>3. 番号を入力します。</li> </ol>	「コールの保留と復帰」(P.20)
履歴からダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.  を押して、[ ディレクトリ (Directories) ] &gt; [ 不在履歴 (Missed Calls) ]、[ 着信履歴 (Received Calls) ]、または [ 発信履歴 (Placed Calls) ] を選択します。</li> <li>2. 番号までスクロールし、[ ダイヤル (Dial) ] を押します。</li> </ol>	「履歴の使用法」(P.57)


#### ヒント

- ダイヤル トーンを聞かずにオンフックでダイヤルできます (プレダイヤル)。プレダイヤルするには、番号を入力してから、ハンドセットを取り上げてオフフックにし、[ ダイヤル (Dial) ] を押します。
- プレダイヤルする場合、この電話機には、発信履歴ログが利用可能な場合、そこから一致する電話番号を表示し、ダイヤルしている番号を前もって示す機能があります。これは自動ダイヤルと呼ばれます。自動ダイヤルで表示された番号に発信するには、その番号までスクロールし、[ ダイヤル (Dial) ] を押してオフフックにします。
- 間違っでダイヤルした場合は、[ << ] を押して、番号を消去します。

- コールの発信者と受信者にビープ音が聞こえる場合、そのコールはモニタまたは記録されている可能性があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- お使いの電話機に国際コールのロギングを設定できる場合があります。これが設定されていると、通話履歴、リダイヤル、コールディレクトリの各エントリに「+」記号が表示されます。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

## コールの発信：その他のオプション

コールを発信するための特別な機能とサービスが電話機で使用可能な場合があります。これらのその他のオプションについての詳細は、システム管理者にお問い合わせください。

目的	必要な操作	参照先または問い合わせ先
Cisco WebDialer を使用してパーソナルコンピュータの社内ディレクトリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Web ブラウザを起動して、WebDialer が有効な社内ディレクトリのページへ移動します。</li> <li>2. ダイヤルする番号をクリックします。</li> </ol>	「Cisco WebDialer の使用方法」(P.82)
話し中または呼び出し中の内線が応対可能になったときに、折返しを使用して通知を受信する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ビジー音または呼出音が聞こえているときに、[折返し (CallBack)] を押します。</li> <li>2. 切断します。回線が利用できるようになると、電話機から通知を受けます。</li> <li>3. 再びコールを発信します。</li> </ol> <p>(注) Call Chaperone ユーザの Cisco Unified IP Phone では、コールが監視されている場合、折返し機能が無効になります。</p>	システム管理者
プライオリティ (Precedence) コールを発信する (SCCP 電話機のみ)	Multilevel Precedence and Preemption (MLPP) アクセス番号を入力してから、電話番号を入力します。	「重要なコールの優先順位付け」(P.41)
個人アドレス帳 (PAB) のエントリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.  を押して、[ディレクトリ (Directories)] &gt; [パーソナルディレクトリ (Personal Directory)] を選択し、ログインします。</li> <li>2. [個人アドレス帳 (Personal Address Book)] を選択し、リストを検索します。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「Cisco Unified CM ユーザ オプション Web ページの使用方法」(P.69)</li> <li>• 「電話機でのパーソナルディレクトリの使用方法」(P.63)</li> </ul>

目的	必要な操作	参照先または問い合わせ先
課金コードまたはトラッキングコードを使用してコールを発信する (SCCP 電話のみ)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電話番号をダイヤルします。</li> <li>2. トーンが鳴ったら、Client Matter Code (CMC; クライアント マター コード) または Forced Authorization Code (FAC) を入力します。</li> </ol>	システム管理者
Cisco エクステンション モビリティ プロファイルを使用してコールを発信する	電話機で Cisco エクステンション モビリティ サービスにログインします。	「Cisco エクステンション モビリティの使用方法」(P.43)
モバイル ボイス アクセスを使用して携帯電話からコールを発信する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. モバイルボイスアクセス番号とエンドユーザの PIN をシステム管理者から入手します。</li> <li>2. 割り当てられたモバイルボイスアクセス番号にダイヤルします。</li> <li>3. 携帯電話の番号(要求された場合)と PIN を入力します。</li> <li>4. <b>1</b> を押して、会社の IP Phone にコールを発信します。</li> <li>5. デスクトップの電話番号にダイヤルします(自分のデスクトップの番号以外)。</li> </ol>	「1つの電話番号を使用したビジネス コールの管理」(P.45)

目的	必要な操作	参照先または問い合わせ先
ファストダイヤルを使用してコールを発信する	<p><b>(注)</b> この機能を使用するには、事前にシステム管理者がこの機能を設定し、サービス URL を回線ボタンに割り当てておく必要があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="436 440 921 496">1. [ファストダイヤル (Fast Dial) ] 回線ボタンを押します。</li> <li data-bbox="436 513 908 646">2. インデックス番号までスクロールするかインデックス番号を押すかして、エントリを探し、選択します。 指定した番号がダイヤルされます。</li> </ol>	<p>「Web でのファストダイヤルの設定」 (P.72)、 「Web での個人アドレス帳の使用法」 (P.71)</p>
PAB を使用してコールを発信する	<p><b>(注)</b> この機能を使用するには、事前にシステム管理者がこの機能を設定し、サービス URL を回線ボタンに割り当てておく必要があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="436 878 821 902">1. [PAB] 回線ボタンを押します。</li> <li data-bbox="436 919 908 1016">2. 連絡先にアクセスし、番号を選択します。 指定した番号がダイヤルされます。</li> </ol>	<p>「Web でのファストダイヤルの設定」 (P.72)、 「Web での個人アドレス帳の使用法」 (P.71)</p>

## コールへの応答

ハンドセットを取り上げるだけでコールに応答できます。また、電話機で使用可能な場合は、他のオプションを使用することもできます。

目的	必要な操作	参照先または問い合わせ先
接続コールから切り替えて新しいコールに応答する	[応答 (Answer) ] を押します。	「コールの保留と復帰」 (P.20)
コール待機を使用して応答する	[応答 (Answer) ] を押します。	「コールの保留と復帰」 (P.20)
ボイスメッセージシステムにコールを送信する	[即転送 (iDivert) ] を押します。	「ボイスメッセージシステムへのコールの送信」 (P.23)



目的	必要な操作	参照先または問い合わせ先
着信コールを自動的に接続する	自動応答を使用します。	「自動応答の使用」(P.51)
別の電話機でパークされたコールを取得する	コール パークまたはダイレクト コール パークを使用します。	「パークされているコールの保存と取得」(P.34)
電話機を使用して、他の場所で呼び出し中のコールに応答する	コール ピックアップを使用します。	「自分の電話機で他の電話機の着信に応答」(P.33)
プライオリティ コールに応答する (SCCP 電話機のみ)	現在のコールを切断して [ 応答 (Answer) ] を押します。	「重要なコールの優先順位付け」(P.41)
携帯電話または他のリモート接続先でコールに応答する	<p>モバイル コネクトを設定して電話に応答します。</p> <p>モバイル コネクトを有効にした場合の動作は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• デスクトップとリモート接続先でコールを同時に受信します。</li> <li>• デスクトップの電話機でコールに応答すると、リモート接続先の電話機の呼出音が止まってコールが切断され、不在履歴メッセージが表示されます。</li> <li>• 1 つのリモート接続先でコールに応答すると、それ以外のリモート接続先では呼出音が止まってコールが切断され、不在履歴メッセージが表示されます。</li> </ul>	「1 つの電話番号を使用したビジネス コールの管理」(P.45)

## ヒント




- コールの発信者と受信者にビープ音が聞こえる場合、そのコールはモニタまたは記録されている可能性があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- コール センターまたは同様の環境で勤務している場合は、事前に録音した独自のグリーティングを作成、更新、および削除できます。このグリーティングは、電話機に対してエージェント グリーティングが設定されている場合に自動的に再生されます。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- Call Chaperone ユーザは、コールが監視されているときは着信コールに応答できません。

## コールの終了

コールを終了するには、単純に切断します。詳細を次に示します。


目的	必要な操作
ハンドセットを使用しているときに切断する	ハンドセットを受け台に戻します。または [ 終了 (EndCall) ] を押します。
(スピーカを使用して) コールをモニタしているときに切断する	[ 終了 (EndCall) ] を押します。
複数のコールがある場合に 1 つのコールだけを切断する	[ 終了 (EndCall) ] を押します。必要に応じて、コールの保留を解除しておきます。



## コールの保留と復帰

コールを保留および復帰できます。コールを保留にすると、保留アイコン  がコールタイマーの横および回線領域内に表示されます。共有回線を使用中で、もう 1 人の電話ユーザがコールを保留にすると、リモート保留アイコン  がコールタイマーの横および回線領域内に表示されます。いずれの場合でも、保留の LED が赤色  に点灯します。


電話機で保留復帰機能を有効にすると、保留にしたコールは、一定の時間が経過した後に復帰し、呼出音が再び鳴るようになります。「復帰」コールは、ユーザが保留解除するまで、または保留復帰がタイムアウトするまで保留状態のままです。

復帰コールの存在は、電話機の次のアクションによって示されます。

- 一定の間隔で呼出音（点滅やビープ音など、電話回線の設定によって異なる）を 1 回鳴らして警告する
- 電話スクリーン下部のステータスバーに「保留復帰」という短いメッセージを表示する
- 保留コールの発信者 ID の横に保留復帰アイコン  の動画を表示する

目的	必要な操作
コールを保留にする	<ol style="list-style-type: none"><li>保留状態にするコールが強調表示されていることを確認します。</li><li> を押します。</li></ol>
コールを保留から復帰する	<ol style="list-style-type: none"><li>該当するコールが強調表示されていることを確認します。</li><li> を押します。</li></ol>

## ヒント

- コールが保留状態になっているとき、通常は音楽やビープ音が流れます。
- 保留状態のコールが強調表示されている場合、保留ボタン  が赤く点灯します。保留にしているコールが強調表示されており、回線上に保留状態の別のコールがある場合は、保留ボタンが点滅状態（赤）に変わります。
- 着信コールと復帰コールが同時に存在するというアラートが発生すると、デフォルトでは、電話機のスクリーンは着信コールの表示にフォーカスを移します。システム管理者は、このフォーカス優先度の設定を変更できます。
- 共有回線を使用している場合、保留復帰の呼出音は、コールを保留している電話機でのみ鳴ります。回線を共有する他の電話機では鳴りません。
- 保留復帰のアラートが発生する間隔は、システム管理者が決定します。
- Call Chaperone ユーザの Cisco Unified IP Phone では、コールが監視されている場合、保留機能が無効になります。


## コールのミュートとミュート解除

[ミュート (Mute)] ソフトキーを押すと、アクティブなコールをミュートできます。ソフトキーの表示は [ミュート解除 (Unmute)] に変わります。その後は、[ミュート解除 (Unmute)] ソフトキーを押してコールをミュート解除できます。

目的	必要な操作
IP 電話のコールをミュートする	[ミュート (Mute)] ソフトキーを押します。
IP 電話のコールをミュート解除する	[ミュート解除 (Unmute)] ソフトキーを押します。

## 複数のコールの切り替え

電話機で複数のコールを切り替えることができます。

目的	必要な操作
接続コールを切り替える	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 切り替え先のコールが強調表示されていることを確認します。</li> <li>2.  を押します。アクティブなコールは保留状態になり、選択されたコールは復帰します。</li> </ol>
接続コールから切り替えて呼び出し中のコールに応答する	[応答 (Answer)] を押します。アクティブなコールが保留状態になります。

## 進行中のコールの他の電話機への切り替え

進行中のコールは、デスクトップの電話機と、携帯電話または他のリモート接続先の電話機との間で切り替えることができます。

目的	必要な操作
進行中のコールをデスクトップの電話機から携帯電話に切り替える	<ol style="list-style-type: none"><li>1. [モビリティ (Mobility)] ソフトキーを押し、[携帯電話へコールを送信 (Send call to mobile)] を選択します。</li><li>2. 進行中のコールに携帯電話で応答します。</li></ol>
進行中のコールを携帯電話からデスクトップの電話機に切り替える	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 携帯電話で通話を終了して携帯電話を切断します。ただし、コールは切断しないで済みます。</li><li>2. デスクトップの電話機で 4 秒以内に [応答 (Answer)] ソフトキーを押し、デスクトップの電話機で通話を開始します。</li></ol>
進行中のコールを携帯電話から同じ回線を共有するデスクの電話機に切り替える (セッションハンドオフ)	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 携帯電話でセッションハンドオフ機能のアクセスコード (*74 など) を押します。アクセスコードのリストについては、システム管理者にお問い合わせください。</li><li>2. 携帯電話で通話を終了して携帯電話を切断します。ただし、コールは切断しないで済みます。</li><li>3. デスクトップの電話機で 10 秒以内に [応答 (Answer)] ソフトキーを押し、デスクトップの電話機で通話を開始します。デスクの電話機でコールに応答するまでの秒数は、システム管理者によって設定されます。</li></ol> <p>同じ回線を共有する他の Cisco Unified デバイスには、「リモートで使用中」メッセージが表示されます。コールを再開するまでの秒数は、システム管理者が行う設定によって決まります。</p>

## 複数のコールの表示

電話機で複数のコールが表示されるしくみを理解することは、コールの処理方法を確認するために役立ちます。

電話機では、強調表示されている回線についてコールが次のように表示されます。

- 優先順位が最も高く、通話時間の最も長いコールがリストの先頭に表示されます。
- 同じタイプのコールは、グループ化されて表示されます。たとえば、相互に通話したコールは先頭付近に、そして保留状態のコールは末尾付近にグループ化されます。

## コールの転送

接続コールは転送によってリダイレクトされます。転送先は、コールの転送先となる電話番号です。

目的	必要な操作
転送先の相手と会話せずにコールを転送する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. アクティブなコールで [転送 (Transfer)] を押します。</li> <li>2. 転送先の番号を入力します。</li> <li>3. [転送 (Transfer)] をもう一度押して転送を完了するか、[終了 (EndCall)] を押してキャンセルします。</li> </ol> <p>(注) 電話機でオンフック転送が有効になっている場合は、ハンドセットを置くことによって転送を完了します。</p>
転送先の相手と会話してからコールを転送する (打診転送)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. アクティブなコールで [転送 (Transfer)] を押します。</li> <li>2. 転送先の番号を入力します。</li> <li>3. 相手が応答するのを待ちます。</li> <li>4. [転送 (Transfer)] をもう一度押して転送を完了するか、[終了 (EndCall)] を押してキャンセルします。</li> </ol> <p>(注) 電話機でオンフック転送が有効になっている場合は、ハンドセットを置くことによって転送を完了します。</p>
ボイス メッセージ システムにコールをリダイレクトする	[即転送 (iDivert)] を押します。詳細は、「 <a href="#">ボイス メッセージ システムへのコールの送信</a> 」(P.23) を参照してください。

### ヒント

- 電話機でオンフック転送が有効な場合は、切断してコールを完了するか、または [転送 (Transfer)] を押してから切断できます。
- 電話機のオンフック転送が有効でない場合は、[転送 (Transfer)] を再び押さずに、切断することで、コールを保留にします。
- [転送 (Transfer)] を使用して保留中のコールをリダイレクトすることはできません。●をもう一度押して、転送前にコールの保留を解除してください。
- Call Chaperone ユーザの Cisco Unified IP Phone では、コールが監視されている場合、転送機能が無効になります。

## ボイス メッセージ システムへのコールの送信

[即転送 (iDivert)] を使用して、アクティブ、呼び出し中、または保留中のコールを自分のボイス メッセージ システムに送信できます。コールのタイプと電話機の設定によっては、[即転送 (iDivert)] を使用して通話相手のボイス メッセージ システムにコールを送信することもできます。

- コールが最初から自分以外の誰かの電話機に送信されていた場合は、[即転送 (iDivert)] でそのコールを自分のボイス メッセージ システムまたは本来のコール先のボイス メッセージ システムのどちらかにリダイレクトできます。このオプションは、システム管理者が使用可能にしておく必要があります。
- コールが直接送信された (転送されたのではない) 場合、または使用している電話機が上記で説明したオプションをサポートしていない場合、[即転送 (iDivert)] を使用するとコールはその電話機ユーザのボイス メッセージ システムにリダイレクトされます。

目的	必要な操作
アクティブ、呼び出し中、または保留中のコールをボイス メッセージ システムに送信する	<p>[即転送 (iDivert)] を押します。次のどちらかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• コールが自分のボイス メッセージ システムに転送されます。</li> <li>• 電話機のスクリーンに、自分のボイス メッセージ システムと本来のコール先のボイス メッセージ システムを選択できるメニューが表示されます。オプションを選択して、コールをリダイレクトします。</li> </ul>

## ヒント

- 電話機にメニューが表示され、選択前にメニューが非表示になっても、[即転送 (iDivert)] をもう一度押すと、メニューが再表示されます。システム管理者に、タイムアウト値を現在より長く設定するように依頼することもできます。
- 進行中のコールを、携帯電話から同じ回線を共有する Cisco Unified デバイスに切り替えると (セッション ハンドオフ)、Cisco Unified デバイスの即転送機能は無効になります。即転送機能は、コールが終了すると復帰します。


## 別の電話番号へのコールの転送

コール転送機能を使用すると、自分の電話機にかかってくる着信コールを別の電話番号にリダイレクトできます。

システム管理者によって設定されている場合は、次の 2 種類のコール転送機能から選択できます。

- 無条件のコール転送 (すべてのコールの転送) : 受信したすべてのコールに適用されます。
- 条件付きコール転送 (無応答時転送、話中転送、カバレッジなし時転送) : 条件に応じて、受信した特定のコールに適用されます。

不在転送機能には電話機または Cisco Unified CM ユーザ オプション Web ページからアクセスできますが、条件付きコール転送機能には、ユーザ オプション Web ページからのみアクセスできます。どのコール転送機能を使用できるかは、システム管理者が決定します。

目的	必要な操作
回線の不在転送を設定する	[ 不在 (CFwdALL) ] を押して、転送先の電話番号を入力します。
回線の不在転送をキャンセルする	[ 不在 (CFwdALL) ] を押します。
回線の不在転送が有効になっているかどうかを確認する	<p>次を確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>交互に点滅するコール転送のアイコン  が電話番号の横に表示される。</li> <li>ステータス行にコール転送の転送先番号が表示されている。</li> </ul>
コール転送をリモートで設定またはキャンセルする	<ol style="list-style-type: none"> <li>ユーザ オプション Web ページにログインします (「<a href="#">ユーザ オプション Web ページへのアクセス</a>」 (P.69) を参照)。</li> <li>コール転送の設定にアクセスします (「<a href="#">Web でのユーザ設定の制御</a>」 (P.76) を参照)。</li> </ol>

## ヒント

- 転送先番号は、自分の電話機からダイヤルする場合とまったく同じように入力します。たとえば、必要に応じてアクセス コードや地域コードをダイヤルします。
- 従来のアナログ電話機、または他の IP Phone にコールを転送できます。ただし、システム管理者がコール転送機能を社内の番号に制限している場合があります。
- コール転送は、電話回線固有です。コール転送が有効でない回線にコールがかかってきた場合、通常どおりコールの呼出音が鳴ります。
- システム管理者は、転送されたコールを受信した人物から転送者への連絡を可能にする、コール転送オーバーライド機能を有効にできます。このオーバーライドが有効になると、転送先から転送者の電話に発信されたコールは転送されず、呼出音が鳴ります。
- 不在転送を電話機から直接設定すると、設定が拒否される場合があります。設定が拒否されるのは、コール転送ループを招く転送先番号が入力された場合、またはコール転送チェーンで許可された最大リンク数を超えることになる転送先番号が入力された場合です。
- 進行中のコールを、携帯電話から同じ回線を共有する Cisco Unified デバイスに切り替えると (セッションハンドオフ)、Cisco Unified デバイスでコール転送機能が無効になります。コール転送機能は、コールが終了すると復帰します。


## サイレントの使用法

サイレント機能を使用すると、電話機の呼出音だけをオフにしたり、音声と表示による着信コール通知をすべてオフにしたりできます。電話機のサイレント機能を有効にするのはシステム管理者です。

電話機で [サイレント (DND) ] と [コール転送 (Call Forward) ] の両方が有効になっている場合、コールは転送され、発信者にはビジー音が聞こえません。

サイレントと他の種類のコールとの相関関係は、次のとおりです。

- サイレントは、インターコム コールにもインターコム以外のプライオリティ コールにも影響しません。
- サイレントと自動応答の両方が有効になっている場合、インターコム コールだけが自動応答されます。
- 進行中のコールを、携帯電話から同じ回線を共有する Cisco Unified デバイスに切り替えると (セッション ハンドオフ)、Cisco Unified デバイスでサイレント機能が無効になります。サイレント機能は、コールが終了すると復帰します。

目的	必要な操作
サイレントをオンにする	[サイレント (DND)] を押します。 ステータス行に「サイレント (Do Not Disturb)」と表示され、呼出音がオフになります。
サイレントをオフにする	[サイレント (DND)] ソフトキーを押します。または、次の操作を行います。 <b>1.</b>  > [デバイス設定 (Device Configuration)] > [コールの設定 (Call Preferences)] > [サイレント (Do Not Disturb)] を押します。 <b>2.</b> [No] を選択してから、[保存 (Save)] を押します。



目的	必要な操作
サイレントの設定値をカスタマイズする	<p>サイレントの設定値がユーザ オプション ページに表示されるようにシステム管理者によって設定されている場合は、次の手順を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ユーザ オプション Web ページにログインします。「<a href="#">ユーザ オプション Web ページへのアクセス</a>」(P.69) を参照してください。</li> <li>2. ドロップダウンメニューから、[ユーザ オプション (User Options)] &gt; [デバイス (Device)] を選択します。</li> <li>3. 次のオプションを設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- [サイレント (Do Not Disturb)] : サイレントを有効または無効に設定します。</li> <li>- [DND オプション (DND Option)] : [コール拒否 (Call Reject)] (音声および表示による通知をオフにする) または [呼出音オフ (Ringer Off)] (呼出音だけをオフにする) を選択します。</li> <li>- [DND 着信呼警告 (DND Incoming Call Alert)] (設定された DND オプションに適用される) : アラートをピープ音のみまたは点滅のみに設定するか、アラート通知を無効にします。または、[なし (None)] を選択します (システム管理者が設定した「アラート (Alert)」設定が使用されます)。</li> </ul> </li> </ol>

## 会議コールの使用方法

Cisco Unified IP Phone では、会議コールで複数の参加者と同時に会話できます。

## 会議の各機能の使用方法

会議は、必要に応じて、また電話機で使用できる機能に応じて、次に示す方法で開催できます。

- 会議：参加者それぞれにコールを発信することによって、標準の (アドホック) 会議を開催できます。[会議 (Confn)] ソフトキーを使用します。会議機能は、ほとんどの電話機で使用できます。
- 参加：既存の複数のコールを結合することによって、標準の (アドホック) 会議を開催できます。[参加 (Join)] ソフトキーを使用します。
- C 割り込み：共有回線のコールに自分自身を追加することによって、標準の (アドホック) 会議を開催できます。[C 割込 (cBarge)] ソフトキーを使用します。C 割り込み機能を使用できるのは、共有回線を使用する電話機のみです。
- ミートミー：会議番号にコールを発信することによって、会議を開催したり、会議に参加したりできます。[ミートミー (MeetMe)] ソフトキーを使用します。


## 会議機能の使用法

会議機能を使用すると、参加者それぞれにコールを発信できます。会議機能は、ほとんどの電話機で使用できます。

目的	必要な操作
参加者にコールを発信して会議を開催する	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 接続コールで、[ 会議 (Confm) ] を押します。</li><li>2. 参加者の電話番号を入力します。</li><li>3. コールの接続を待ちます。</li><li>4. もう一度 [ 会議 (Confm) ] を押して、参加者をコールに追加します。</li><li>5. この操作を繰り返して、参加者を 1 人ずつ追加します。</li></ol>
既存の会議に新しい参加者を追加する	上記の手順を繰り返します。 会議の開催者以外が参加者を追加または削除できるかどうかは、システム管理者が決定します。
参加者のリストを表示する、または参加者を削除する	「 <a href="#">会議参加者の表示または削除</a> 」(P.30) を参照してください。

## 参加機能の使用法

参加機能を使用すると、複数の既存のコールを結合して、自分が参加者となる会議を開催できます。

目的	必要な操作
複数の既存コールを結合して会議を開催する	<ol style="list-style-type: none"><li>1. アクティブなコールで会議に含める別のコールを強調表示し、[ 選択 (Select) ] を押します。 選択したコールにアイコン  が表示されます。</li><li>2. 追加するコールごとにこの手順を繰り返します。</li><li>3. [ 参加 (Join) ] を押します (必要に応じて [ 次へ (more) ] ソフトキーを押して、[ 参加 (Join) ] を表示します)。</li></ol>
2 つの既存の会議を結合する	[ 参加 (Join) ] ソフトキーまたは [ D 転送 (DirTrfr) ] ソフトキーを使用します。 この機能が使用可能になっているかどうかをシステム管理者に確認してください。
参加者のリストを表示する、または参加者を削除する	「 <a href="#">会議参加者の表示または削除</a> 」(P.30) を参照してください。

## C 割り込みの使用方法

C 割り込みを使用すると、共有回線のコールに自分自身を追加することによって、会議を開催できません。

目的	必要な操作
共有回線のコールに割り込んで会議を開催する	コールを強調表示し、[C 割込 (cBarge)] を押して操作を完了します。 詳細については、「共有回線の使用」(P.36) を参照してください。
参加者のリストを表示する、または参加者を削除する	「会議参加者の表示または削除」(P.30) を参照してください。

## ミーティングの使用法

ミーティング会議では、会議番号に発信することで、会議の開催や参加をすることができます。





目的	必要な操作
ミーティング会議を開催する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. システム管理者からミーティング電話番号を取得します。</li> <li>2. 参加者に番号を配布します。</li> <li>3. 会議を開催する準備ができたなら、オフフックにしてダイヤル トーンを受信し、[ミーティング (MeetMe)] を押します。</li> <li>4. ミーティング会議番号をダイヤルします。 ダイヤルインすることにより、参加者は会議に参加できます。</li> </ol> <p>(注) 会議の開催者が参加する前に、参加者が会議にコールした場合、その参加者にはビジー音が聞こえます。この場合、参加者はコールバックする必要があります。</p>
ミーティング会議に参加する	<p>ミーティング会議番号をダイヤルします (この番号は会議の開催者から提供されます)。</p> <p>(注) 会議の開催者の参加よりも前に会議にコールすると、ビジー音が聞こえます。その場合は、もう一度発信し直す必要があります。</p>
ミーティング会議を終了する	<p>参加者全員が、切断する必要があります。</p> <p>会議の開催者が切断しても、会議は自動的に終了しません。</p>

### ヒント

セキュリティ保護されていない電話機から安全なミーティング会議番号にコールすると、電話機に「認証されていないデバイス (Device Not Authorized)」というメッセージが表示されます。詳細については、「安全なコールの送受信」(P.39) を参照してください。

## 会議参加者の表示または削除

標準の（アドホック）会議中に、参加者のリストを表示したり、参加者を削除したりできます。

会議の参加者のリストを表示する	<ul style="list-style-type: none"><li>• [参加者 (ConfList)] または [会議リスト (Conference List)] を押します。</li><li>• 会議に参加した順序に従って、参加者がリストに表示されます。最後に追加された参加者がリストの先頭になります。</li></ul> <p><b>(注)</b> 会議の参加者リスト ([参加者 (ConfList)]) には、最大 16 人の参加者が表示されます。ユーザは会議ブリッジでサポートされる数だけ会議参加者を追加できますが、[参加者 (ConfList)] には 16 人の参加者しか表示されません。新しい参加者が会議に参加すると、[参加者 (ConfList)] には最新の 16 人の参加者のみ表示されます。</p>
会議の参加者のリストを更新する	会議の参加者のリストを表示している状態で、[更新 (Update)] を押します。
会議の開催者を確認する	会議リストを表示している状態で、リストの末尾までスクロールして、会議の開催者（名前の横にアスタリスク (*) の付いた参加者）を検索します。
会議の任意の参加者を削除する	会議の参加者のリストを表示している状態で、参加者の名前を強調表示し、[削除 (Remove)] を押します。
会議に最後に追加された参加者を削除する	会議の参加者のリストを表示している状態で、[ドロップ (RMLstC)] を押します。 参加者を削除できるのは、会議コールの開催者だけです。
会議コールのセキュリティを確認する	「会議 (Conference)」の次に  アイコンまたは  アイコンが表示されているか電話機のスクリーンで確認します。
セキュリティ保護されている電話機から参加者がコールを発信していることを確認する	参加者の名前の横に  アイコンまたは  アイコンが表示されているか電話機のスクリーンで確認します。
別の参加者を追加する	「 <a href="#">会議機能の使用方法</a> 」(P.28) を参照してください。

# 応用的なコール処理

応用的なコール処理のタスクには、特別な機能が伴うため、コール処理の需要や作業環境に応じて、システム管理者に電話機の設定を依頼します。


## スピードダイヤル

スピードダイヤル機能を使用すると、インデックス番号の入力、または電話スクリーンの項目の選択により、コールを発信できます。設定に応じて、電話機で、複数のスピードダイヤル機能をサポートできます。

- スピードダイヤル
- 短縮ダイヤル
- ファストダイヤル



- (注)**
- スピードダイヤル番号と短縮ダイヤルを設定するには、ユーザ オプション Web ページにアクセスする必要があります。「[Cisco Unified CM ユーザ オプション Web ページの使用](#)方法」(P.69)を参照してください。
  - ファストダイヤルを設定するには、パーソナルディレクトリ機能にアクセスする必要があります。「[電話機でのパーソナルディレクトリ](#)の使用
方法」(P.63)を参照してください。
  - システム管理者が、スピードダイヤルを設定できます。

目的	必要な操作
スピードダイヤルボタンを使用する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. スピードダイヤルボタンを設定します。「<a href="#">Web でのスピードダイヤルの設定</a>」(P.74)を参照してください。</li> <li>2. コールを発信するには、 (スピードダイヤルボタン) を押します。</li> </ol>
短縮ダイヤルを使用する (オンフック)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 短縮ダイヤルコードを設定します。「<a href="#">Web でのスピードダイヤルの設定</a>」(P.74)を参照してください。</li> <li>2. コールを発信するには、短縮ダイヤルコードを入力し、[短縮 (AbbrDial)] を押します。</li> </ol>

目的	必要な操作
<p>短縮ダイヤルを使用する（オフフック）</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ハンドセットを取り上げます。</li> <li>2. [短縮 (AbbrDial)] ソフトキーを押し、キーパッドを使用して短縮ダイヤルコードを入力します。</li> <li>3. [短縮 (AbbrDial)] ソフトキーをもう一度押します。</li> </ol> <p>会議コールにオフフックの短縮ダイヤルを使用するには、次の操作を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. [会議 (Confrn)] ソフトキーを押します。ダイヤル トーンが鳴ります。</li> <li>2. 上記のステップ 2 および 3 を実行します。</li> <li>3. [会議 (Confrn)] ソフトキーをもう一度押します。</li> </ol> <p>コールの転送にオフフックの短縮ダイヤルを使用するには、次の操作を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. [転送 (Transfer)] ソフトキーを押します。ダイヤル トーンが鳴ります。</li> <li>2. 上記のステップ 2 および 3 を実行します。</li> <li>3. [転送 (Transfer)] ソフトキーをもう一度押します。</li> </ol> <p>コールが保留状態のときにオフフックの短縮ダイヤルを使用するには、次の操作を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. [発信 (NewCall)] ソフトキーを押します。</li> <li>2. 上記のステップ 2 および 3 を実行します。</li> </ol>
<p>ファストダイヤルを使用する</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 個人アドレス帳エントリを作成し、ファストダイヤルコードを割り当てます。「<a href="#">Web でのパーソナルディレクトリの使用方法</a>」(P.70)を参照してください。</li> <li>2. コールを発信するには、電話機からファストダイヤルサービスにアクセスします。「<a href="#">電話機でのパーソナルディレクトリの使用方法</a>」(P.63)を参照してください。</li> </ol>

## 自分の電話機で他の電話機の着信に応答

コール ピックアップでは、同僚の電話機で呼び出し中のコールを自分の電話機にリダイレクトして、そのコールに応答できます。同僚とコール処理タスクを共有する場合、コール ピックアップを使用できます。

目的	必要な操作
自分のコール ピックアップ グループ内の内線で鳴っているコールに応答する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. [ ピック (PickUp) ] ソフトキーを押します (ソフトキーを表示するためにオフフックにしなければならない場合があります)。電話機が自動ピックアップをサポートしている場合、コールに接続されます。</li> <li>2. コールが鳴ったら、[ 応答 (Answer) ] を押してコールに接続します。</li> </ol>
自分のコール ピックアップ グループ外の別の内線で鳴っているコールに応答する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. [G ピック (GPickUp) ] ソフトキーを押します (ソフトキーを表示するためにオフフックにしなければならない場合があります)。</li> <li>2. グループ ピックアップ番号を入力します。電話機が自動ピックアップをサポートしている場合、コールに接続されます。</li> <li>3. コールが鳴ったら、[ 応答 (Answer) ] を押してコールに接続します。</li> </ol>

目的	必要な操作
自分のグループまたは関連付けられたグループ内の別の内線で鳴っているコールに応答する	<ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="508 191 1213 358">1. [他 Grp (OPickUp)] ソフトキーを押します (ソフトキーを表示するためにオフフックにしなければならない場合があります)。電話機が自動ピックアップをサポートしている場合、コールに接続されます。</li> <li data-bbox="508 375 1213 433">2. コールが鳴ったら、[応答 (Answer)] を押してコールに接続します。</li> </ol>
特定の内線 (回線番号) で鳴っているコールに応答する	<ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="508 446 1213 537">1. [G ピック (GPickUp)] ソフトキーを押します (ソフトキーを表示するためにオフフックにしなければならない場合があります)。</li> <li data-bbox="508 553 1213 721">2. ピックアップするコールの回線番号を入力します。たとえば、ピックアップするコールが回線 12345 で鳴っている場合、12345 と入力します。電話機が自動ピックアップをサポートしている場合、コールに接続されます。</li> <li data-bbox="508 737 1213 795">3. コールが鳴ったら、[応答 (Answer)] を押してコールに接続します。</li> </ol>

## ヒント

- ピックアップ対象のコールが複数ある場合、電話機は最も古いコール (呼び出し中の状態が最も長いコール) からピックアップします。
- [G ピック (GPickUp)] ソフトキーを押して回線番号を入力すると、電話機はその回線で呼び出し中のコールをピックアップします (回線が使用可能な場合)。
- ユーザの電話機の設定によっては、ピックアップグループへのコールに関する音声または表示 (あるいはその両方) によるアラートを受信する場合があります。

## パークされているコールの保存と取得

コールをパークすると、コールを保存し、Cisco Unified Communications Manager (Unified CM) システムの別の電話機 (同僚のデスクや会議室の電話機など) でコールを本人または別の人が取得できます。

次の方法を使用してコールをパークできます。

- コール パーク : [パーク (Park)] ソフトキーを使用してコールを保存します。コールが保存されるコール パーク番号が電話機に表示されます。この番号を記録し、コールを取得する場合もこの番号を使用する必要があります。



- **ダイレクト コール パーク** : [転送 (Transfer)] ソフトキーを使用して、ダイヤルまたはスピードダイヤルする使用可能なダイレクト コール パーク番号にコールを転送します。ダイレクト コールパーク番号からコールを取得するには、パーク取得プレフィックスをダイヤルしてから、同じダイレクト コール パーク番号にダイヤルまたはスピードダイヤルする必要があります。

目的	必要な操作
コールパークを使用してアクティブなコールを保存する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. コール中に [パーク (Park)] を押します (必要に応じて、[次へ (more)] ソフトキーを押して、[パーク (Park)] を押します)。</li> <li>2. 電話スクリーンに表示されたコールのパーク番号を記録します。</li> <li>3. 切断します。</li> </ol>
パークされたコールを取得する	ネットワーク内の任意の Cisco Unified IP Phone でコールのパーク番号を入力し、コールに接続します。
アクティブなコールをダイレクト コールパーク番号に転送し、保存する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. コール中に [転送 (Transfer)] を押します。</li> <li>2. ダイレクト コールパーク番号に割り当てられたスピードダイヤル番号を選択するか、番号をダイヤルします。</li> <li>3. 再び [転送 (Transfer)] を押して、番号の保存を終了します。</li> </ol>
パークされたコールをダイレクト コールパーク番号から取得する	ネットワーク内の任意の Cisco Unified IP Phone から、パーク取得プレフィックスを入力してダイレクト コールパーク番号をダイヤルするか、パーク取得プレフィックスを入力した後でダイレクト コールパーク番号のスピードダイヤルを選択してコールに接続します。

## ヒント

パークされているコールを取得するまでの時間は制限されています。この時間を過ぎると元の番号に戻って呼出音が鳴ります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

## ハント グループからのログアウト

大量の着信コールを受信する組織に属している場合、ハントグループのメンバーになっている可能性があります。ハントグループには、着信コールの負荷を共有する一連の電話番号が設定されています。ハントグループ内の最初の電話番号が使用中の場合は、次に使用可能な番号がグループ内で検索され、その電話機にコールが転送されます。

電話機から離れているときは、ハン ト グループからログアウトすることによって、ハン ト グループのコールが自分の電話機で鳴らないようにできます。

目的	必要な操作
ハン ト グループからログアウトして一時的にハン ト グループのコールをブロックする	[ハン ト (HLog)] を押します。電話機のスクリーンに「ハン ト グループからログアウト (Logged out of Hunt Group)」と表示されます。
ログインしてハン ト グループのコールを受信する	[ハン ト (HLog)] を押します。

## ヒント

ハン ト グループからログアウトしても、ハン ト グループ以外のコールは引き続き着信します。


## 共有回線の使用

次の場合、システム管理者が共有回線の使用を指示することがあります。

- 複数の電話機で 1 つの電話番号を使う
- 同僚とコール処理タスクを共有する
- マネージャに代わってコールを処理する

## 共有回線について

### リモートで使用中のアイコン

リモートで使用中のアイコン  は、共有回線の別の電話機に接続コールがある場合に表示されます。リモートで使用中のアイコンが表示されている場合でも、共有回線では通常どおりにコールの発信や受信を行うことができます。

### コール情報の共有と割り込み

共有回線の電話機には、共有回線で発信および受信したコールに関する情報がそれぞれ表示されます。この情報には、発信者 ID や通話時間などが含まれます (例外については、「[プライバシー](#)」(P.37) を参照してください)。

コールに関する情報がこのように表示されているときは、[割り込み (Barge)] または [C 割込 (cBarge)] を使用して、回線を共有する同僚とともに、コールに参加できます。「[割り込みの使用による共有回線のコールへの参加](#)」(P.37) を参照してください。

## プライバシー

回線を共有している同僚に対して自分のコールに関する情報が表示されないようにするには、プライバシー機能を有効にします。この機能を有効にすると、自分のコールに同僚が割り込むのを防止することもできます。「[他者による共有回線のコールの表示および割り込みの防止](#)」(P.38)を参照してください。



**(注)** 共有回線でサポートされるコールの最大数は、電話機によって異なります。

## 割り込みの使用による共有回線のコールへの参加

割り込み機能（[C 割込（cBarge）] および [割り込み（Barge）]）を使用して、共有回線のコールに自分自身を追加できます（プライベート コール以外のコールである必要があります。「[共有回線の使用](#)」(P.36)を参照してください）。

### 割り込み機能について


#### C 割込みと割り込み

電話機の設定によって、[C 割込（cBarge）] または [割り込み（Barge）] を使用して、共有回線のコールに自分自身を追加できる場合があります。

- [C 割込（cBarge）] を使用すると、コールを標準の会議に切り替え、新しい参加者を追加できます（標準の会議の詳細については、「[会議コールの使用](#)」(P.27)を参照してください）。
- [割り込み（Barge）] を使用すると、コールに自分自身を追加することはできますが、コールを会議に切り替えることや、新しい参加者を追加することはできません。

### 割り込み機能の使用

次の表に、割り込み機能（[C 割込（cBarge）] または [割り込み（Barge）]）を使用して共有回線のコールに自分自身を追加する方法を示します。

目的	必要な操作
共有回線が使用中であることを確認する	リモートで使用中のアイコン  が表示されていることを確認します。



目的	必要な操作
共有回線のコールに参加する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. リモートで使用中のコールを強調表示します。</li> <li>2. [ 割込み (Barge) ] を押します (必要に応じて [ 次へ (more) ] ソフトキーを押して、[ 割込み (Barge) ] を表示します)。</li> </ol> <p>他の参加者に対して自分の割り込みを知らせるビープ音が鳴ります。</p>
会議の参加者を表示する (C 割り込みを使用した場合)	「 <a href="#">会議参加者の表示または削除</a> 」(P.30) を参照してください。

## ヒント

- コールに割り込むと、他の参加者に対して自分の存在を知らせるビープ音を鳴らすことができます。[C 割込 (cBarge) ] を使用した場合は、他の参加者に短い割り込み音が聞こえ、電話機のスクリーンが切り替わって会議の詳細が表示されます。
- 割り込んだコールを中止すると、他の参加者に対してビープ音が鳴ります。
- 共有回線の電話機でプライバシー機能が有効な場合、コールの情報や割り込みのソフトキーは、回線を共有する別の電話機には表示されません。
- 共有回線を使用している電話のプライバシーが無効で、Private Line Automated Ringdown (PLAR) で設定されている場合、割り込み機能と C 割り込み機能は使用できます。
- [ 割込み (Barge) ] を使用して参加したコールが保留状態になるか、転送されるか、または会議コールに切り替えられた場合は、そのコールから切断されます。

## 他者による共有回線のコールの表示および割り込みの防止

電話回線を共有している場合、プライバシー機能を使用すると、この回線を共有している他者が自分のコールを表示したりコールに割り込んだり (自分自身を追加) しないようにできます。

目的	必要な操作
他者が共有回線のコールを表示したり、コールに割り込んだりするのを防止する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. [ 次へ (more) ] &gt; [ 非通知 (Private) ] を押します。</li> <li>2. プライバシーがオンになっていることを確認するには、電話スクリーンに、プライバシーが有効であることを示すアイコン  が「非通知 (Private)」の横に表示されていることを確認します。</li> </ol>
他者が共有回線のコールを表示したり、コールに割り込んだりするのを許可する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. [ 次へ (more) ] &gt; [ 非通知 (Private) ] を押します。</li> <li>2. プライバシーがオフになっていることを確認するには、電話スクリーンに、プライバシーが無効であることを示すアイコン  が「非通知 (Private)」の横に表示されていることを確認します。</li> </ol>

## ヒント

回線を共有している電話機でプライバシー機能が有効になっていても、共有回線を通常どおり使用して、コールを発信および受信できます。

## 安全なコールの送受信

システム管理者が電話機システムをどのように設定したかによって異なりますが、電話機では安全なコールの送受信がサポートされます。

電話機では、次のタイプのコールがサポートされます。

- **認証されたコール**：コールに参加しているすべての電話機の ID が検証されています。
- **暗号化されたコール**：電話機では、Unified CM ネットワーク内で暗号化された音声（会話）が送受信されています。暗号化済みのコールは認証済みのコールです。
- **保護されたコール**：電話機は、Unified CM サーバ上の安全な（暗号化および信頼された）デバイスであり、Unified CM Administration で「保護されたデバイス（Protected Device）」として設定されます。




Unified CM Administration で「セキュア インディケーション トーンの再生（Play Secure Indication Tone）」が有効（True）になっている場合、保護された電話機でコールの開始時にセキュアまたはノンセキュア インディケーション トーンが再生されます。


- エンドツーエンドのセキュア メディアが **Secure Real-Time Transfer Protocol (SRTP)**；セキュア リアルタイム転送プロトコル）によって確立され、コール ステータスがセキュアである場合、セキュア インディケーション トーン（短い間隔で 3 回の長いピープ音）が再生されます。
- エンドツーエンドのノンセキュア メディアが **Real-Time Protocol (RTP)**；リアルタイム プロトコル）によって確立され、コール ステータスがノンセキュアである場合、ノンセキュア インディケーション トーン（短い間隔で 6 回の短いピープ音）が再生されます（この機能はこのリリースで変更されています）。


「セキュア インディケーション トーンの再生（Play Secure Indication Tone）」オプションが無効（False）になっている場合、トーンは再生されません。

- **保護されないコール**：電話機のステータスは、Unified CM で「保護されたデバイス（Protected Device）」ではありません。セキュアまたはノンセキュア インディケーション トーンは再生されません。
- **ノンセキュアコール**：電話機は Unified CM サーバ上で保護されず、コール ステータスはノンセキュアになります。

詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

目的	必要な操作
コールまたは会議のセキュリティ レベルを確認する	<p>コール アクティビティ領域の右上、通話時間タイマーの横にあるセキュリティ アイコンが、次のいずれかの状態になっていることを確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li> 認証されたコールまたは会議</li> <li> 暗号化されたコールまたは会議</li> <li> ノンセキュアなコールまたは会議</li> </ul>
電話接続（コール ステータス）がセキュアであることを確認する	<p>コールの開始時にセキュア インディケーション トーンの音を確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• セキュア コール ステータス：電話機が保護されており、「セキュア インディケーション トーンの再生（Play Secure Indication Tone）」が有効で、コール ステータスがセキュアである場合、保護された電話機でコールの開始時にセキュア インディケーション トーン（短い間隔で 3 回の長いビープ音）が再生されます。また、コールが安全であることを示すロック アイコンが表示されます。</li> <li>• ノンセキュア コール ステータス：電話機が保護されており、「セキュア インディケーション トーンの再生（Play Secure Indication Tone）」が有効で、コール ステータスがノンセキュアである場合、保護された電話機でコールの開始時にノンセキュア インディケーション トーン（短い間隔で 6 回の短いビープ音）が再生されます。また、コールが安全でないことを示す再生矢印アイコンが表示されます。</li> </ul> <p>詳細については、システム管理者にお問い合わせください。</p>
社内で安全なコールを発信できるかどうかを判断する	システム管理者にお問い合わせください。

 **(注)** 相互作用や制約、制限によって、電話機におけるセキュリティ機能の動作が悪影響を受ける場合があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

 **(注)** コールに参与するデバイスは、シスコによって、信頼できる、または信頼できないと判断されます。コールが安全な場合でも、信頼できないデバイスから発着信したコールのとき、[Cisco Unified IP Phone] 画面に鍵アイコンまたはシールドアイコンは表示されません。

## 不審なコールのトレース

不審（迷惑）なコールを受信している場合、システム管理者は電話機に **Malicious Call Identification (MCID; 迷惑呼 ID)** 機能を追加できます。この機能を使用すると、アクティブなコールを不審なコールとして識別できます。その結果、一連のトラッキングと通知のメッセージが自動的に発信されます。

目的	必要な操作
システム管理者に不審なコールまたは嫌がらせのコールの受信を通知する	[ 迷惑呼 (MCID) ] を押します。 電話機でトーンが再生され、電話機に「迷惑呼が成功しました (MCID successful)」というメッセージが表示されます。

## 重要なコールの優先順位付け

(SCCP 電話のみ)

官庁のような特別な環境では、緊急または重要なコールを発信および受信しなければならない場合があります。この特別なコール処理が必要な場合は、電話機への **Multilevel Precedence and Preemption (MLPP)** の追加をシステム管理者に依頼します。

次の用語に留意してください。

- **Precedence** : コールに関連付けられたプライオリティを示します。
- **Preemption** : プライオリティの低い既存のコールを終了して、電話機に送信されたプライオリティのより高いコールを受け入れる処理です。

目的または状態	必要な操作
発信コールのプライオリティ レベル ( <b>Precedence</b> ) を選択する	対応するコールの <b>Precedence</b> 番号のリストについては、システム管理者にお問い合わせください。
プライオリティ ( <b>Precedence</b> ) コールをかける	電話番号の前に、システム管理者から提供された <b>MLPP</b> アクセス番号を入力します。
特別な呼出音 (通常より速い) または特別なコール待機音が鳴る	プライオリティ ( <b>Precedence</b> ) コールを受けていることを意味します。コールのプライオリティ レベルは、電話スクリーン上の <b>MLPP</b> アイコンによって示されます。

目的または状態	必要な操作
コールのプライオリティ レベルを確認する	<p>電話スクリーン上の MLPP アイコンを確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ プライオリティ コール</li> <li>■ 中程度のプライオリティの（即時）コール</li> <li>■ プライオリティの高い（フラッシュ）コール</li> <li>■ プライオリティの最も高い（フラッシュ オーバーライド）コール、つまりエグゼクティブ オーバーライド コール</li> </ul> <p>より高いプライオリティのコールが、コール リストの先頭に表示されます。MLPP アイコンが表示されていない場合、コールのプライオリティ レベルは通常（ルーチン）です。</p>
プライオリティのより高いコールを受け入れる	通常どおりにコールに応答します。必要に応じて、先にアクティブなコールを終了します。
コール中に連続したトーンが聞こえる	自分または通話相手が、現在のコールより優先されるべきコールを受信しています。すぐに切断し、プライオリティのより高いコールの呼出音が鳴るようにします。

## ヒント



- MLPP が有効なコールを発信または受信すると、標準のトーンとは異なる特別な呼出音とコール待機音が鳴ります。
- 無効な MLPP アクセス番号を入力すると、音声によるアナウンスでエラーが通知されます。
- 次の場合には、MLPP が有効なコールのプライオリティと優先ステータスがそのまま維持されます。
  - コールを保留にする
  - コールを転送する
  - コールを 3 者会議に追加する
  - [ ピック（PickUp） ] を使用してコールに応答する
- MLPP を使用すると、サイレント（DND）機能が無効になります。





## Cisco エクステンション モビリティの使用法

Cisco Extension Mobility (EM; エクステンション モビリティ) を使用すると、Cisco Unified IP Phone を一時的に自分の電話機として設定できます。EM にログインすると、電話機が、電話回線、機能、設定されたサービス、および Web ベースの設定といったユーザ プロファイルを選択します。システム管理者は、EM を設定する必要があります。

Cisco Extension Mobility PIN 設定機能を使用すると、Cisco Unified IP Phone から PIN を変更できます。

目的	必要な操作
EM にログインする	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.  を押して、[ サービス (Services) ] &gt; [ EM Service ] を選択します (名前は異なる場合があります)。</li> <li>2. ユーザ ID と PIN (システム管理者から取得) を入力します。</li> <li>3. プロンプトが表示されたら、デバイス プロファイルを選択します</li> </ol>
EM からログアウトする	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.  を押して、[ サービス (Services) ] &gt; [ EM Service ] を選択します (名前は異なる場合があります)。</li> <li>2. ログアウトの指示があったら、[ はい (Yes) ] を押します。</li> </ol>

目的	必要な操作
<p>[クレデンシャルの変更 (Change Credentials) ] サービスを使用して PIN を変更する</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.  を押し、[ サービス (Services) ] &gt; [ クレデンシャルの変更 (Change Credentials) ] を選択します。</li> <li>2. [ ユーザ ID (User ID) ] フィールドにユーザ ID を入力します。</li> <li>3. [ 現在の PIN (Current PIN) ] フィールドに PIN を入力します。</li> <li>4. [ 新しい PIN (New PIN) ] フィールドに新しい PIN を入力します。</li> <li>5. [ PIN の確認 (Confirm PIN) ] フィールドに新しい PIN をもう一度入力します。</li> <li>6. [ 変更 (Change) ] を押します。 「PIN の変更が完了しました (PIN Change Successful)」メッセージが表示されます。</li> <li>7. [ 終了 (Exit) ] を押します。</li> </ol>
<p>[PIN 設定 (ChangePIN) ] ソフトキーを使用して PIN を変更する</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.  を押して、[ サービス (Services) ] &gt; [ EM Service ] を選択します (名前は異なる場合があります)。</li> <li>2. [ PIN 設定 (ChangePIN) ] を押します。</li> <li>3. [ 現在の PIN (Current PIN) ] フィールドに PIN を入力します。</li> <li>4. [ 新しい PIN (New PIN) ] フィールドに新しい PIN を入力します。</li> <li>5. [ PIN の確認 (Confirm PIN) ] フィールドに新しい PIN をもう一度入力します。</li> <li>6. [ 変更 (Change) ] を押します。 「PIN の変更が完了しました (PIN Change Successful)」メッセージが表示されます。</li> <li>7. [ 終了 (Exit) ] を押します。</li> </ol>

## ヒント

- 一定の時間が過ぎると、EM によって自動的にログアウトされます。この時間制限は、システム管理者により設定されます。
- Unified CM ユーザ オプション Web ページを使用して EM プロファイルに加えた変更は、電話機で EM にログインしている場合はすぐに有効になります。ログインしていない場合は、次回ログインしたときに有効になります。
- ユーザ オプション Web ページを使用して電話機に加えた変更は、EM からログアウトしている場合はすぐに有効になります。ログアウトしていない場合は、ログアウトした後に有効になります。
- 電話機によって制限を受けるローカル設定は、EM プロファイルには保存されません。

## 1つの電話番号を使用したビジネス コールの管理

Intelligent Session Control は、携帯電話番号をビジネス IP 電話番号に関連付けます。リモート接続先（携帯電話）へのコールを着信すると、デスクの電話機の呼出音は鳴りません。リモート接続先のみが鳴ります。携帯電話で着信コールに応答すると、デスクの電話機には「リモートで使用中」メッセージが表示されます。

通話中には、任意の携帯電話機能も使用できます。たとえば、携帯番号へのコールが着信した場合、デスクの電話機からコールに応答したり、コールを携帯電話からデスクの電話機にハンドオフしたりできます。

目的	必要な操作
着信のモバイル アクティブ コールをデスクの電話機に転送する	携帯電話のさまざまな機能を使用します (*74 など)。アクセス コードのリストについては、システム管理者にお問い合わせください。

モバイル コネクトとモバイル ボイス アクセスをインストールしておく、デスクトップの電話番号に関連付けられているコールを携帯電話で処理できます。

目的	必要な操作
モバイル コネクトを設定する	ユーザ オプション Web ページを使用して、リモート接続先を設定し、特定の電話番号からのコールがリモート接続先に渡されるのを許可またはブロックするためのアクセス リストを作成します。「 <a href="#">モバイル コネクト用の電話機とアクセス リストの設定</a> 」(P.80) を参照してください。
携帯電話でコールに応答する	「 <a href="#">コールへの応答</a> 」(P.18) を参照してください。
進行中のコールをデスクの電話機と携帯電話との間で切り替える	「 <a href="#">進行中のコールの他の電話機への切り替え</a> 」(P.22) を参照してください。
携帯電話で応答したコールを保留にする	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. [ 保留 (Enterprise Hold) ] (名前は異なる場合があります) ソフトキーを押します。 通話相手は保留状態になります。</li> <li>2. 携帯電話で、[ 復帰 (Resume) ] (名前は異なる場合があります) ソフトキーを押します。「<a href="#">進行中のコールの他の電話機への切り替え</a>」(P.22) を参照してください。</li> </ol>

目的	必要な操作
携帯電話で応答したコールで会議コールを開始する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 携帯電話で[会議 (Enterprise Conference)] (名前は異なる場合があります) ソフトキーを押します。</li> <li>2. 会議用のエンタープライズ アクセス コードをダイヤルして、新規コールを開始します。通話相手は保留状態になります。</li> <li>3. [会議 (Enterprise Conference)] ソフトキーを押して会議の設定を完了し、両方の発信者を会議に含めます。</li> </ol>
モバイル ボイス アクセスに接続する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 任意の電話機から、割り当てられたモバイル ボイス アクセス番号にダイヤルします。</li> <li>2. 発信番号 (要求された場合) と PIN を入力します。</li> </ol>
携帯電話からモバイル コネクトを有効にする	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 割り当てられたモバイル ボイス アクセス番号にダイヤルします。</li> <li>2. 携帯電話の番号 (要求された場合) と PIN を入力します。</li> <li>3. <b>2</b> を押してモバイル コネクトを有効にします。</li> <li>4. モバイル コネクト有効化の対象を選択します。設定済みの電話機すべて、または 1 台のみです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- すべての電話機の場合：<b>2</b> を入力します。</li> <li>- 1 台の電話機の場合：<b>1</b> を入力します。次にリモート接続先として追加する番号を入力し、続けて <b>#</b> を入力します。</li> </ul> </li> </ol>
携帯電話からコールを発信する	<p>「<b>コールの発信：その他のオプション</b>」(P.16) を参照してください。</p>
携帯電話からモバイル コネクトを無効にする	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 割り当てられたモバイル ボイス アクセス番号にダイヤルします。</li> <li>2. 携帯電話の番号 (要求された場合) と PIN を入力します。</li> <li>3. <b>3</b> を押してモバイル コネクトを無効にします。</li> <li>4. モバイル コネクト無効化の対象を選択します。設定済みの電話機すべて、または 1 台のみです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- すべての電話機の場合：<b>2</b> を入力します。</li> <li>- 1 台の電話機の場合：<b>1</b> を入力します。次にリモート接続先として削除する番号を入力し、続けて <b>#</b> を入力します。</li> </ul> </li> </ol>
すべてのリモート接続先へのモバイル コネクト アクセスをデスクトップの電話機で有効または無効にする	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. [モビリティ (Mobility)] を押して、リモート接続先の現在のステータス (有効または無効) を表示します。</li> <li>2. [選択 (Select)] を押して、ステータスを変更します。</li> <li>3. [終了 (Exit)] を押します。</li> </ol>

## ヒント

- 次の条件が当てはまる場合は、モバイル ボイス アクセスにコールするときに発信番号と PIN を入力する必要があります。
  - 発信している番号がリモート接続先の番号でない場合。
  - 通信事業者によって番号がブロックされている（「不明な番号」と表示される）場合。
  - 番号が Unified CM データベースと完全には一致しない場合。たとえば、ユーザの番号が 510-666-9999 でデータベースにリストされている番号が 666-9999 の場合や、ユーザの番号が 408-999-6666 でデータベースには 1-408-999-6666 と入力されている場合などがこれに当てはまります。
- 要求された情報（携帯電話の番号または PIN）の入力を 3 回連続して誤ると、モバイル ボイス アクセス コールから切断され、一定の時間ロックアウトされます。サポートが必要な場合は、システム管理者に問い合わせてください。



# ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカの使用方法

Cisco Unified IP Phone 7906G および 7911G では、スピーカを使用してハンズフリーで音声を聞くことができます。スピーカは、通話を聞くためだけに使用できます。通話中に会話するには、ハンドセットを使用します。

次の 2 つの方法のいずれかで、スピーカを使用できます。どちらの方法を使用できるかは、システム管理者が電話機に対してどちらの機能を有効にしているかによって決まります。電話機に対して次のどちらかの機能を有効にできますが、両方を同時に有効にすることはできません。

- グループ リッスン
- モニタ (デフォルト)

## グループ リッスン機能の使用方法

次の表は、グループ リッスン機能の使用方法を示しています。

目的	必要な操作
ハンドセットを使用する	オフフックにするにはハンドセットを取り上げます。オンフックにするにはハンドセットを受け台に戻します。
ハンドセットを使用して話すと同時に、スピーカで聞く (グループ リッスン)	[Glisten] を押します。 <b>(注)</b> システム管理者がグループ リッスンを有効にしている場合にだけ、[Glisten] ソフトキーが表示されます。
グループ リッスンをオフにし、ハンドセットを使用する	[GLOff] を押します。
グループ リッスンの使用後に切断する	[終了 (EndCall) ] を押すか、または切断します。
コールの音量レベルを調節する	<b>(注)</b> グループ リッスンを使用している場合は、音量を調節すると、ハンドセットではなくスピーカの音量だけに変更されます。  コール中またはダイヤル トーンが聞こえているときに <b>音量</b> の上下ボタンを押します。  以降のコール用に音量レベルを保存するには、[保存 (Save) ] を押します。

# モニタ機能の使用法


次の表は、モニタ機能の使用法を示しています。

目的	必要な操作
ハンドセットを使用する	オフフックにするにはハンドセットを取り上げます。オンフックにするにはハンドセットを受け台に戻します。
通話をスピーカで聞く	[モニタ (Monitor)] を押し、ハンドセットを置きます。通話を聞くことはできますが、話すことはできません。 <b>(注)</b> グループ リッスンが有効である場合、[モニタ (Monitor)] ソフトキーと [モニタオフ (MonOff)] ソフトキーは使用できません。
スピーカをオフにし、ハンドセットを使用する	ハンドセットを取り上げるか、[モニタオフ (MonOff)] を押しします。 <b>(注)</b> グループ リッスンが有効である場合、[モニタ (Monitor)] ソフトキーと [モニタオフ (MonOff)] ソフトキーは使用できません。
スピーカをオフにし、終了する	[終了 (EndCall)] を押しします。
コールのスピーカ音量レベルを調節する	コール中またはダイヤル トーンが聞こえているときに <b>音量</b> の上下ボタンを押しします。 以降のコール用に音量レベルを保存するには、[保存 (Save)] を押しします。

## ヒント

- システム管理者によって電話機のスピーカを使用できないように設定されている場合、[Glisten]、[GLOff]、[モニタ (Monitor)] および [モニタオフ (MonOff)] の各ソフトキーは使用できません。ハンドセットを取り上げて、コールの発信やモニタを行う必要があります。
- 音量ボタンを押すと、使用中の装置（ハンドセットまたはスピーカ）の音量が変わります。グループ リッスン モードおよびモニタ モードでは、音量調節はスピーカを対象としており、ハンドセットを対象としていません。



- (注)** ハンドセットのためのワイドバンド設定を変更する必要がある場合（ハンドセットを変更する場合など）、 を押して、[設定 (Settings)] > [ユーザ設定 (User Preferences)] > [オーディオ設定 (Audio Preferences)] > [ワイドバンド ハンドセット (Wideband Handset)] を選択します。ワイドバンド ハンドセットの設定がグレー表示になっている場合、ユーザはこの設定を変更できません。  
システム管理者に、電話機システムがワイドバンドを使用するように設定されているかどうかを確認します。システムがワイドバンド対応に設定されていない場合は、ワイドバンドハン



ドセットを使用してもオーディオの感度が上がったとは感じられない場合があります。詳細については、ハンドセットのマニュアルを参照するか、システム管理者にお問い合わせください。

---

## ヘッドセットの使用

ヘッドセットを使用するには、ハンドセットを取り外し、ヘッドセットをハンドセット ポートに接続します。ヘッドセットの購入については、「[ヘッドセットについて](#)」(P.7) を参照してください。

### ヘッドセットでのワイドバンドの使用

ヘッドセットをハンドセット ポートに接続する場合は、ワイドバンドハンドセットの設定が無効になっていることを確認してください。[ ユーザ設定 (User Preferences) ] > [ オーディオ設定 (Audio Preferences) ] > [ ワイドバンドハンドセット (Wideband Handset) ] を選択します。



**(注)** ワイドバンドハンドセットの設定がグレー表示になっている場合、ユーザはこの設定を制御できません。この設定を変更するには、システム管理者に連絡する必要があります。

---

## 自動応答の使用

自動応答が有効である場合、電話機は、2～3回の呼出音の後、自動的に着信コールに応答します。システム管理者は、自動応答においてコールへの応答にスピーカを使用するよう設定できます。ただし、スピーカを使用してユーザが実行できるのは、コールをモニタすることだけです。発信者と通話するには、ハンドセットを取り上げる必要があります。




# 電話機の設定の変更方法

呼出音のトーン、背景イメージ、およびその他の設定を調整することにより、Cisco Unified IP Phone をカスタマイズできます。

## 呼出音およびメッセージ インジケータのカスタマイズ


着信コールおよび新しいボイス メッセージを電話機で示す方法をカスタマイズできます。また、電話機の呼出音の音量を調節できます。

目的	必要な操作
呼出音のトーンを変更する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.  を押して、[設定 (Settings)] &gt; [ユーザ設定 (User Preferences)] &gt; [呼出音 (Rings)] を選択します。</li> <li>2. 呼出音のトーンを選択し、[再生 (Play)] を押してサンプルを聞きます。</li> <li>3. [保存 (Save)] を押して呼出音のトーンを設定するか、[キャンセル (Cancel)] を押します。</li> </ol>
呼出音のパターン（点滅のみ、一度だけ鳴らす、ビープ音のみなど）を変更する	<p>Cisco Unified CM ユーザ オプション Web ページにログインします（「<a href="#">ユーザ オプション Web ページへのアクセス</a>」(P.69) を参照）。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ユーザ オプション Web ページにログインします（「<a href="#">ユーザ オプション Web ページへのアクセス</a>」(P.69) を参照）。</li> <li>2. 呼出音のパターン設定にアクセスします（「<a href="#">Web でのユーザ設定の制御</a>」(P.76) を参照）。</li> </ol> <p><b>(注)</b> ユーザがこの設定にアクセスするには、システム管理者がこのアクセスをユーザに対して有効にしておくことが必要な場合があります。</p>

目的	必要な操作
電話機の呼出音の音量レベルを調節する	<p>ハンドセットが受け台にある状態で、音量ボタンを押します。設定した呼出音の音量が自動的に保存されます。</p> <p><b>(注)</b> 最小の呼出音設定が設定されているかどうかについては、システム管理者に確認してください。</p>
ハンドセットにあるボイスメッセージのランプの動作を変更する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ユーザ オプション Web ページにログインします (「<a href="#">ユーザ オプション Web ページへのアクセス</a>」(P.69) を参照)。</li> <li>2. [メッセージ受信のランプ ポリシーを変更 (Change the Message Waiting Lamp policy...)] を選択します。</li> <li>3. メッセージインジケータの設定にアクセスします (「<a href="#">Web でのユーザ設定の制御</a>」(P.76) を参照)。</li> </ol> <p><b>(注)</b> 通常、デフォルトのシステム ポリシーでは、ハンドセットのライトストリップのランプが点灯することにより、新しいボイスメッセージがあることを示します。</p>

## 電話スクリーンのカスタマイズ


電話スクリーンの特性を調整できます。

目的	必要な操作
背景イメージを変更する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.  を押して、[設定 (Settings)] &gt; [ユーザ設定 (User Preferences)] &gt; [背景イメージ (Background Images)] を選択します。</li> <li>2. スクロールして利用可能な画像を表示し、[選択 (Select)] を押して画像を選択します。</li> <li>3. [プレビュー (Preview)] を押して、背景イメージの拡大表示を確認します。</li> <li>4. [終了 (Exit)] を押して、選択メニューに戻ります。</li> <li>5. [保存 (Save)] を押して新しい画像を受け入れるか、または [キャンセル (Cancel)] を押します。</li> </ol>

目的	必要な操作
電話スクリーンの言語を変更する	<ol style="list-style-type: none"><li data-bbox="435 191 1264 256">1. ユーザ オプション Web ページにログインします (「<a href="#">ユーザ オプション Web ページへのアクセス</a>」 (P.69) を参照)。</li><li data-bbox="435 264 1264 329">2. ユーザ設定にアクセスします (「<a href="#">Web でのユーザ設定の制御</a>」 (P.76) を参照)。</li></ol>
回線テキスト ラベルを変更する	<ol style="list-style-type: none"><li data-bbox="435 339 1264 404">1. ユーザ オプション Web ページにログインします (「<a href="#">ユーザ オプション Web ページへのアクセス</a>」 (P.69) を参照)。</li><li data-bbox="435 412 1264 477">2. 回線テキスト ラベルの設定にアクセスします (「<a href="#">Web でのユーザ設定の制御</a>」 (P.76) を参照)。</li></ol>



# 履歴およびディレクトリの使用方法



この項では、履歴およびディレクトリの使用方法について説明します。両方の機能にアクセスするには、 を押して、[ディレクトリ (Directories)] を選択します。

## 履歴の使用方法


電話機には履歴が保持されます。履歴には、不在履歴、発信履歴、および着信履歴のレコードが含まれます。

電話の特定のライン アピアランスについて不在履歴が不在履歴ディレクトリに記録されるかどうかは、電話機の管理者が決めます。

目的	必要な操作
履歴を表示する	 を押して、[ディレクトリ (Directories)] > [不在履歴 (Missed Calls)]、[発信履歴 (Placed Calls)]、または [着信履歴 (Received Calls)] を選択します。それぞれに最大 100 件のレコードを保存できます。リストの省略された内容を表示するには、強調表示して、[編集 (EditDial)] を押します。
1 つのコール レコードの詳細を表示する	<ol style="list-style-type: none"> <li> を押して、[ディレクトリ (Directories)] &gt; [不在履歴 (Missed Calls)]、[発信履歴 (Placed Calls)]、または [着信履歴 (Received Calls)] を選択します。</li> <li>コール レコードを強調表示します。</li> <li>[詳細 (Details)] を押します。この操作により、着信番号、発呼番号、時刻、通話時間などの情報（発信履歴と着信履歴の場合のみ）が表示されます。</li> </ol>
すべての履歴からすべてのコール レコードを削除する	 を押して [ディレクトリ (Directories)] を選択し、[クリア (Clear)] を押します。
1 つの履歴からすべてのコール レコードを削除する	<ol style="list-style-type: none"> <li> を押して、[ディレクトリ (Directories)] &gt; [不在履歴 (Missed Calls)]、[発信履歴 (Placed Calls)]、または [着信履歴 (Received Calls)] を選択します。</li> <li>コール レコードを強調表示します。</li> <li>[クリア (Clear)] を押します（必要に応じて [次へ (more)] ソフトキーを押して、[クリア (Clear)] を表示します）。</li> </ol>

目的	必要な操作
1 つのコール レコードを削除する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.  を押して、[ディレクトリ (Directories)] &gt; [不在履歴 (Missed Calls)]、[発信履歴 (Placed Calls)]、または [着信履歴 (Received Calls)] を選択します。</li> <li>2. コール レコードを強調表示します。</li> <li>3. [削除 (Delete)] を押します。</li> </ol>
履歴からダイヤルする (別のコールに接続していない状態)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.  を押して、[ディレクトリ (Directories)] &gt; [不在履歴 (Missed Calls)]、[発信履歴 (Placed Calls)]、または [着信履歴 (Received Calls)] を選択します。</li> <li>2. 履歴にあるコールのレコードを強調表示します。</li> </ol> <p data-bbox="341 532 1214 623"><b>(注)</b> [詳細 (Details)] ソフトキーが表示される場合、そのコールはマルチパーティ コールプライマリ エントリです。次の「ヒント」の項を参照してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>3. 表示された番号を編集する必要がある場合、[編集 (EditDial)] を押します。次に、[&lt;&lt;] または [&gt;&gt;] を押します。番号を削除するには、[編集 (EditDial)] を押した後、[削除 (Delete)] を押します (必要に応じて、[次へ (more)] ソフトキーを押して、[削除 (Delete)] を表示します)。</li> <li>4. オフフックにしてコールを発信します。</li> </ol>



目的	必要な操作
履歴からダイヤルする（別のコールに接続した状態）	<p><b>1.</b>  を押して、[ディレクトリ (Directories)] &gt; [不在履歴 (Missed Calls)]、[発信履歴 (Placed Calls)]、または [着信履歴 (Received Calls)] を選択します。</p> <p><b>2.</b> 履歴にあるコールのレコードを強調表示します。</p> <p><b>(注)</b> [詳細 (Details)] ソフトキーが表示される場合、そのコールはマルチパーティコールのプライマリ エントリです。次の「ヒント」の項を参照してください。</p> <p><b>3.</b> 表示された番号を編集する必要がある場合、[編集 (EditDial)] を押します。次に、[&lt;&lt;] または [&gt;&gt;] を押します。番号を削除するには、[編集 (EditDial)] を押した後、[削除 (Delete)] を押します（必要に応じて、[次へ (more)] ソフトキーを押して、[削除 (Delete)] を表示します）。</p> <p><b>4.</b> [ダイヤル (Dial)] を押します。</p> <p><b>5.</b> 次のいずれかを選択して、元のコールを処理します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- [保留 (Hold)] : 最初のコールを保留にします。</li> <li>- [転送 (Transfer)] : 最初の通話相手を 2 番めの通話相手に転送し、自分のコールを終了します（操作を完了するには、ダイヤルした後で [転送 (Transfer)] をもう一度押します）。</li> <li>- [会議 (Confrn)] : 自分も含めすべての通話相手との間で会議コールを作成します（操作を完了するには、ダイヤルした後で [会議 (Confrn)] をもう一度押します）。</li> <li>- [終了 (EndCall)] : 最初のコールを切断し、2 番めのコールをダイヤルします。</li> </ul>

目的	必要な操作
不在履歴および着信履歴から国際コールをリダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.  &gt; [ディレクトリ (Directories)] &gt; [不在履歴 (Missed Calls)]、または [着信履歴 (Received Calls)] を押します。</li> <li>2. リダイヤルするコールレコードを強調表示します。</li> <li>3. [詳細 (Details)] ソフトキーが表示される場合、そのコールはマルチパーティコールのプライマリエントリです。次の「ヒント」の項を参照してください。</li> <li>4. [編集 (EditDial)] を押します。</li> <li>5. 「*」キーを1秒以上押したままにして、「+」記号を電話番号の最初の桁として追加します (+記号は番号の最初の桁としてしか追加できません)。</li> <li>6. [ダイヤル (Dial)] を押します。</li> </ol>
履歴のURLエントリからコールを発信する (SIP 電話機のみ)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.  を押して、[ディレクトリ (Directories)] &gt; [不在履歴 (Missed Calls)]、[発信履歴 (Placed Calls)]、または [着信履歴 (Received Calls)] を選択します。</li> <li>2. ダイヤルするURLエントリを強調表示します。</li> <li>3. エントリを編集する必要がある場合は、[編集 (EditDial)] を押します。  アイコンが表示され、URLエントリの文字の編集を開始できることを示します。</li> <li>4. [ダイヤル (Dial)] を押します。</li> </ol>

## ヒント

- (SCCP 電話機のみ) マルチパーティコール (転送されてきたコールなど) の完全なコールレコードを表示するには、該当のコールレコードを強調表示して、[詳細 (Details)] を押します。詳細レコードでは、不在または着信のマルチパーティコールごとに2つのエントリが表示されます。エントリは、新しい順に表示されます。
  - 先頭に記録されたエントリは、電話機が受信した複数のコールの中で、直近に完了したコールの名前と番号です。
  - 2番めに記録されたエントリは、電話機が受信した複数のコールのうち一番初めに完了したコールの名前と番号です。
- お使いの電話機に国際コールのロギングを設定できる場合があります。これが設定されていると、通話履歴、リダイヤル、コールディレクトリの各エントリに「+」記号が表示されます。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。


## ディレクトリ ダイヤリング


設定に応じて、電話機で、社内ディレクトリ機能およびパーソナル ディレクトリ機能をサポートできます。

- 社内ディレクトリ：ご使用の電話機でアクセスできる社内の連絡先。社内ディレクトリの設定および保守は、システム管理者によって行われます。
- パーソナル ディレクトリ：使用可能な場合、ご使用の電話機および Cisco Unified CM ユーザ オプション Web ページから設定およびアクセスできる個人用連絡先および関連付けられた短縮ダイヤルコードです。パーソナル ディレクトリは、Personal Address Book (PAB; 個人アドレス帳) とファストダイヤルで構成されています。
  - PAB は、個人用連絡先のディレクトリです。
  - ファストダイヤルは、すばやくダイヤルできるように、コードを PAB エントリに割り当てるために使用します。
  - 詳細は、「Cisco Unified CM ユーザ オプション Web ページの使用方法」(P.69) を参照してください。

## 電話機での社内ディレクトリの使用方法

社内ディレクトリを使用して、同僚にコールを発信できます。

目的	必要な操作
社内ディレクトリからダイヤルする (別のコールに接続していない状態)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.  を押して、[ディレクトリ (Directories)] &gt; [社内ディレクトリ (Corporate Directory)] を選択します (正確な名前は異なる場合があります)。</li> <li>2. キーパッドを使用して、名前の全部、または一部を入力し、[検索 (Search)] を押します。</li> <li>3. ダイヤルするには、リスト項目を選択し、オフフックにします。</li> </ol>


目的	必要な操作
社内ディレクトリからダイヤルする（別のコールに接続されているとき）	<ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="337 190 1216 282">1.  を押して、[ディレクトリ (Directories)] &gt; [社内ディレクトリ (Corporate Directory)] を選択します（正確な名前は異なる場合があります）。</li> <li data-bbox="337 293 1216 354">2. キーパッドを使用して、正式な名前または名前の一部を入力し、[検索 (Search)] を押します。</li> <li data-bbox="337 365 1216 402">3. リストをスクロールして、[ダイヤル (Dial)] を押します。</li> <li data-bbox="337 414 1216 777">4. 次のいずれかを選択して、元のコールを処理します。 <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="391 456 1216 493">- [保留 (Hold)] : 最初のコールを保留にします。</li> <li data-bbox="391 505 1216 597">- [転送 (Transfer)] : 最初の通話相手を 2 番目の通話相手に転送し、自分のコールを終了します（操作を完了するには、ダイヤルした後で [転送 (Transfer)] をもう一度押します）。</li> <li data-bbox="391 609 1216 701">- [会議 (Confrn)] : 自分も含めすべての通話相手との間で会議コールを作成します（操作を完了するには、ダイヤルした後で [会議 (Confrn)] をもう一度押します）。</li> <li data-bbox="391 712 1216 777">- [終了 (EndCall)] : 最初のコールを切断し、2 番目のコールをダイヤルします。</li> </ul> </li> </ol>



## ヒント


キーパッドの番号を使用して、電話スクリーンの文字を入力します。電話機のナビゲーション ボタンを使用して、入力フィールド間を移動します。

## 電話機でのパーソナル ディレクトリの使用方法

パーソナル ディレクトリ機能セットには、Personal Address Book (PAB; 個人アドレス帳) とファストダイヤルが含まれています。この項では、電話機でのパーソナル ディレクトリの設定方法および使用方法について説明します。「[Web でのパーソナル ディレクトリの使用方法](#)」(P.70) も参照してください。

目的	必要な操作
パーソナルディレクトリにアクセスする (PABおよびファストダイヤルコードの検索のため)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.  を押して、[ディレクトリ (Directories)] &gt; [パーソナルディレクトリ (Personal Directory)] を選択します (正確な名前は異なる場合があります)。</li> <li>2. Unified CM のユーザ ID と PIN を入力し、[送信 (Submit)] を押しします。</li> </ol>
PAB エントリを検索する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. パーソナルディレクトリにアクセスし、[個人アドレス帳 (Personal Address Book)] を選択します。</li> <li>2. 検索条件を入力し、[送信 (Submit)] を押しします。</li> <li>3. [前へ (Previous)] または [次へ (Next)] を選択して、リスト内を移動できます。</li> <li>4. 必要な PAB リスト項目を強調表示し、[選択 (Select)] を押しします。</li> </ol>
PAB エントリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. リスト項目を検索します。</li> <li>2. そのリスト項目を強調表示し、[選択 (Select)] を押しします。</li> <li>3. [ダイヤル (Dial)] を押しします (必要に応じて、[次へ (more)] ソフトキーを押して、[ダイヤル (Dial)] を表示します)。</li> </ol>
PAB エントリを削除する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. リスト項目を検索します。</li> <li>2. 目的のリスト項目を強調表示し、[削除 (Delete)] を押しします。</li> <li>3. [編集 (Edit)] を押しします。</li> <li>4. [削除 (Delete)] を押しします。</li> <li>5. [OK] を選択して、削除することを確認します。</li> </ol>
PAB エントリを編集する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. リスト項目を検索します。</li> <li>2. そのリスト項目を強調表示し、[選択 (Select)] を押しします。</li> <li>3. [編集 (Edit)] を押して名前または電子メールアドレスを変更します。</li> <li>4. 必要に応じて、[電話 (Phones)] を選択して電話番号を修正します。</li> <li>5. [更新 (Update)] を押しします。</li> </ol>

目的	必要な操作
新規 PAB エントリを追加する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. パーソナル ディレクトリにアクセスし、[ 個人アドレス帳 (Personal Address Book) ] を選択します。</li> <li>2. [ 送信 (Submit) ] を選択することで、[ 検索 (Search) ] ページにアクセスします (最初に検索情報を入力する必要はありません)。</li> <li>3. [ 新規 (New) ] を押します。</li> <li>4. 電話機のキーパッドを使用して、名前と電子メール情報を入力します。</li> <li>5. [ 電話 (Phones) ] を選択し、キーパッドを使用して電話番号を入力します。必要なアクセス コード (9 や 1 など) を必ず含めます。</li> <li>6. [ 送信 (Submit) ] を選択して、エントリをデータベースに追加します。</li> </ol>
PAB エントリにファストダイヤルコードを割り当てる	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. PAB エントリを検索します。</li> <li>2. そのリスト項目を強調表示し、[ 選択 (Select) ] を押します。</li> <li>3. [ ファストダイヤル (Fast Dials) ] を押します。</li> <li>4. ダイヤルする番号を強調表示し、[ 選択 (Select) ] を押します。</li> <li>5. 番号に割り当てる未割り当てのファストダイヤルコードを強調表示し、[ 選択 (Select) ] を押します。</li> </ol>
新規ファストダイヤルコードを追加する (PAB エントリを使用しない場合)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.  を押して、[ ディレクトリ (Directories) ] &gt; [ パーソナルディレクトリ (Personal Directory) ] &gt; [ 個人ファストダイヤル (Personal Fast Dials) ] を選択します。</li> <li>2. 割り当てられていないファストダイヤルコードを強調表示し、[ 割り当て (Assign) ] を押します。</li> <li>3. 電話番号を入力します。</li> <li>4. [ 更新 (Update) ] を押します。</li> </ol>
ファストダイヤルコードを検索する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.  を押して、[ ディレクトリ (Directories) ] &gt; [ パーソナルディレクトリ (Personal Directory) ] &gt; [ 個人ファストダイヤル (Personal Fast Dials) ] を選択します。</li> <li>2. [ 次へ (Next) ] を選択して、リスト内を移動します。</li> </ol>
ファストダイヤルコードを使用してコールを発信する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ファストダイヤルコードを検索します。</li> <li>2. [ ダイヤル (Dial) ] を押します。</li> </ol>

目的	必要な操作
ファストダイヤルコードを削除する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ファストダイヤルコードを検索します。</li> <li>2. 必要なリスト項目を強調表示し、[削除 (Remove)] を押します。</li> <li>3. もう一度 [削除 (Remove)] を押します。</li> </ol>
パーソナルディレクトリからログアウトする	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.  を押して、[ディレクトリ (Directories)] &gt; [パーソナルディレクトリ (Personal Directory)] を選択します (正確な名前は異なる場合があります)。</li> <li>2. [ログアウト (Logout)] を選択します。</li> <li>3. [OK] を押します。</li> </ol>

## ヒント

- システム管理者は、ユーザがパーソナルディレクトリにログインするために必要なユーザ ID および PIN を指定できます。
- パーソナルディレクトリでは、一定の時間が過ぎると自動的にログアウトされます。この時間制限は、設定によって異なります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- キーパッドの番号を使用して、電話スクリーンの文字を入力します。電話機のナビゲーションボタンを使用して、入力フィールド間を移動します。
- お使いの電話機に国際コールのログインを設定できる場合があります。これが設定されていると、通話履歴、リダイヤル、コールディレクトリの各エントリに「+」記号が表示されます。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。








# ボイス メッセージへのアクセス

ボイス メッセージにアクセスするには、 を押して、[メッセージ (Messages)] を選択します。



**(注)** お使いの電話機システムが使用するボイス メッセージ サービスは、会社によって決定されます。ボイス メッセージ サービスの詳細については、付属のマニュアルを参照してください。

目的	必要な操作
ボイス メッセージ サービスの個人設定を行う	次のいずれかを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>[メッセージ (Msgs)] を押して、音声の指示に従います。</li> <li> を押して、[メッセージ (Messages)] を選択し、音声の指示に従います。</li> </ul>
新しいボイス メッセージの着信を確認する	次を確認します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ハンドセットの赤いランプの点灯（このインジケータは異なる場合があります。「呼出音およびメッセージ インジケータのカスタマイズ」(P.53) を参照してください）。</li> <li>電話スクリーン上のメッセージ受信アイコン  の点滅。</li> </ul> 次の音を確認します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>コールを発信したときにハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカフォンから聞こえるスタッタ音。</li> </ul>
ボイス メッセージを聞く、またはボイス メッセージメニューにアクセスする	次のいずれかを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>[メッセージ (Msgs)] を押して、音声の指示に従います。</li> <li> を押して、[メッセージ (Messages)] を選択し、音声の指示に従います。</li> </ul>
ボイス メッセージシステムにコールを送信する	[転送 (Divert)] を押します。詳細は、「ボイス メッセージ システムへのコールの送信」(P.23) を参照してください。



# Cisco Unified CM ユーザ オプション Web ページの使用方法

Cisco Unified IP Phone は、社内のパーソナル コンピュータなど、他のネットワーク デバイスと情報を共有することのできるネットワーク デバイスです。コンピュータを使用してユーザ オプション Web ページにログインできます。そのページから、Cisco Unified IP Phone の機能、設定、およびサービスを制御できます。たとえば、ユーザ オプション Web ページからスピード ダイヤル番号を設定できます。

## ユーザ オプション Web ページへのアクセス

この項では、ログイン方法と電話機デバイスの選択方法について説明します。

目的	必要な操作
ユーザ オプション Web ページにログインする	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ユーザ オプションの URL、ユーザ ID、およびデフォルトのパスワードをシステム管理者から入手します。</li> <li>2. コンピュータで Web ブラウザを起動し、URL を入力してログインします。</li> <li>3. セキュリティ設定を受け入れるように求められた場合は、[ はい (Yes) ] または [ 証明書のインストール (Install Certificate) ] をクリックします。            メインの Cisco Unified Communications Manager ユーザ オプション Web ページが表示されます。このページから、[ ユーザ オプション (User Options) ] を選択して、ユーザ設定、ディレクトリ機能、個人アドレス帳、およびファスト ダイヤルにアクセスできます。            または、電話機固有のオプションにアクセスするには、デバイスを選択します (次を参照)。</li> </ol>

目的	必要な操作
ログイン後にデバイスを選択する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ユーザ オプション ページにログインした後、[ ユーザ オプション (User Options) ] &gt; [ デバイス (Device) ] を選択します。 [ デバイス設定 (Device Configuration) ] ページが表示されます。</li> <li>2. 複数のデバイスを割り当てられている場合は、適切なデバイス（電話機のモデル、エクステンション モビリティ プロファイル、またはリモート接続先プロファイル）を [ 名前 (Name) ] ドロップダウン メニューから選択します。</li> </ol> <p>(注) [ デバイス設定 (Device Configuration) ] ページの最上部に表示される ツールバー ボタンは、選択したデバイスの種類によって異なります。</p>
ログイン後に設定オプションを選択する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ユーザ オプション Web ページにログインした後、[ ユーザ オプション (User Options) ] を選択して、ユーザ設定、ディレクトリ、個人アドレス帳、ファストダイヤル、およびモビリティ設定にアクセスします。</li> <li>2. 他のページから [ デバイス設定 (Device Configuration) ] ページに戻るには、[ ユーザ オプション (User Options) ] &gt; [ デバイス (Device) ] を選択します。</li> </ol>

## Web での機能とサービスの設定

この項の各トピックでは、ログイン後にユーザ オプション Web ページから機能とサービスを設定する方法について説明します。「[ユーザ オプション Web ページへのアクセス](#)」(P.69) を参照してください。

## Web でのパーソナル ディレクトリの使用方法

コンピュータでアクセスできるパーソナル ディレクトリ機能セットは、次のもので構成されています。

- Personal Address Book (PAB; 個人アドレス帳)
- ファストダイヤル
- Cisco Unified Communications Manager Address Book Synchronizer



(注) PAB およびファストダイヤルには、電話機からもアクセスできます。「[電話機でのパーソナルディレクトリの使用方法](#)」(P.63) を参照してください。

## Web での個人アドレス帳の使用法

この項では、ユーザ オプション Web ページから PAB を使用する方法について説明します。

目的	ログイン後に必要な操作
新規 PAB エントリを追加する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. [ユーザ オプション (User Options)] &gt; [個人アドレス帳 (Personal Address Book)] を選択します。</li> <li>2. [新規追加 (Add New)] を選択します。</li> <li>3. エントリの情報を入力します。</li> <li>4. [保存 (Save)] をクリックします。</li> </ol>
PAB エントリを検索する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. [ユーザ オプション (User Options)] &gt; [個人アドレス帳 (Personal Address Book)] を選択します。</li> <li>2. 検索情報を指定し、[検索 (Find)] をクリックします。</li> </ol>
PAB エントリを編集する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. PAB エントリを検索します。</li> <li>2. 名前またはニックネームをクリックします。</li> <li>3. エントリを必要に応じて編集し、[保存 (Save)] をクリックします。</li> </ol>
PAB エントリを削除する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. PAB エントリを検索します。</li> <li>2. 1 つまたは複数のエントリを選択します。</li> <li>3. [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。</li> </ol>
回線ボタンを PAB に割り当てる	<p>(注) 回線ボタンを PAB に割り当てるには、電話機でサービスが表示されるようにシステム管理者が事前に設定する必要があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. [ユーザ オプション (User Options)] &gt; [デバイス (Device)] を選択します。</li> <li>2. [サービス URL (Service URL)] をクリックします。</li> <li>3. [ボタン (Button)] ドロップダウン リスト ボックスで [個人アドレス帳 (Personal Address Book)] サービスを選択します。</li> <li>4. ボタンの電話ラベルを入力します。</li> <li>5. [保存 (Save)] をクリックします。</li> <li>6. [リセット (Reset)] をクリックしてから、[リスタート (Restart)] をクリックします。電話機の設定が更新されます。</li> </ol> <p>回線ボタンを押して PAB コードにアクセスできるようになります。</p>

## Web でのファスト ダイヤルの設定

この項では、ユーザ オプション Web ページからファスト ダイヤルを割り当てる方法について説明します。

目的	ログイン後に必要な操作
PAB エントリにファストダイヤルコードを割り当てる	<ol style="list-style-type: none"><li>1. PAB エントリを作成します。「<a href="#">Web での個人アドレス帳の使用方法 (P.71)</a>」を参照してください。</li><li>2. [ユーザ オプション (User Options)] &gt; [ファストダイヤル (Fast Dials)] を選択します。</li><li>3. [新規追加 (Add New)] をクリックします。</li><li>4. [検索オプション (Search Options)] 領域を使用して、該当する PAB エントリを検索します。</li><li>5. [検索結果 (Search Results)] 領域で電話番号をクリックします。</li><li>6. 必要に応じて、ファストダイヤルコードを変更します。</li><li>7. [保存 (Save)] をクリックします。</li></ol>
ファストダイヤルコードを電話番号に割り当てる (PAB エントリを使用しない場合)	<ol style="list-style-type: none"><li>1. [ユーザ オプション (User Options)] &gt; [ファストダイヤル (Fast Dials)] を選択します。</li><li>2. [新規追加 (Add New)] をクリックします。</li><li>3. 必要に応じて、ファストダイヤルコードを変更します。</li><li>4. 電話番号を入力します。</li><li>5. [保存 (Save)] をクリックします。</li></ol>
ファストダイヤル エントリを検索する	<ol style="list-style-type: none"><li>1. [ユーザ オプション (User Options)] &gt; [ファストダイヤル (Fast Dials)] を選択します。</li><li>2. 検索情報を指定し、[検索 (Find)] をクリックします。</li></ol>
ファストダイヤル電話番号を編集する	<ol style="list-style-type: none"><li>1. [ユーザ オプション (User Options)] &gt; [ファストダイヤル (Fast Dials)] を選択します。</li><li>2. 編集するファストダイヤル エントリを検索します。</li><li>3. エントリのコンポーネントをクリックします。</li><li>4. 電話番号を変更します。</li><li>5. [保存 (Save)] をクリックします。</li></ol>

目的	ログイン後に必要な操作
ファスト ダイアル エントリを削除する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ファスト ダイアルを検索します。</li> <li>2. 1 つまたは複数のエントリを選択します。</li> <li>3. [ 選択項目の削除 (Delete Selected) ] をクリックします。</li> </ol>
回線ボタンをファスト ダイアルに割り当てる	<p>(注) 回線ボタンをファスト ダイアルに割り当てるには、電話機でサービスが表示されるようにシステム管理者が事前に設定する必要があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. [ ユーザ オプション (User Options) ] &gt; [ デバイス (Device) ] を選択します。</li> <li>2. [ サービス URL (Service URL) ] をクリックします。</li> <li>3. [ ボタン (Button) ] ドロップダウン リスト ボックスで [ ファスト ダイアル (Fast Dial) ] サービスを選択します。</li> <li>4. ボタンの電話ラベルを入力します。</li> <li>5. [ 保存 (Save) ] をクリックします。</li> <li>6. [ リセット (Reset) ] をクリックしてから、[ リスタート (Restart) ] をクリックします。電話機の設定が更新されます。</li> </ol> <p>回線ボタンを押してファスト ダイアル コードにアクセスできるようになります。</p>

## ヒント

- 最大 500 個のファスト ダイアルおよび PAB のエントリを作成できます。
- PAB エントリを使用しなくても、新規のファスト ダイアル エントリを作成できます。そのようなファスト ダイアル エントリには、ユーザ オプション ページでは、「raw」というラベルが付けられます。設定可能なテキスト ラベルは表示されません。

## アドレス帳同期ツールの使用方法

アドレス帳同期ツール (TABSynch) を使用して、既存の Microsoft Windows アドレス帳 (存在する場合) を PAB と同期させることができます。それによって、Cisco Unified IP Phone およびユーザ オプション Web ページで、Microsoft Windows アドレス帳のエントリにアクセスできるようになります。システム管理者は、TABSynch へのアクセスおよび使用方法の詳しい説明を提供できます。

# Web でのスピードダイヤルの設定

設定に応じて、電話機で、複数のスピードダイヤル機能をサポートできます。

- スピードダイヤル番号
- 短縮ダイヤル
- ファストダイヤル



**(注)** スピードダイヤル機能の使用方法については、「[スピードダイヤル](#)」(P.31) を参照してください。


目的	ログイン後に必要な操作
スピードダイヤル番号を設定する	<ol style="list-style-type: none"><li>1. [ユーザ オプション (User Options) ] &gt; [デバイス (Device) ] を選択します。</li><li>2. [名前 (Name) ] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。</li><li>3. [スピードダイヤル (Speed Dials) ] をクリックします。</li><li>4. 電話機のスピードダイヤル番号の番号とラベルを入力します。</li><li>5. [保存 (Save) ] をクリックします。</li></ol> <p><b>(注)</b> 電話機では ASCII ラベル フィールドが使用されます。</p>
短縮ダイヤルを設定する	<ol style="list-style-type: none"><li>1. [ユーザ オプション (User Options) ] &gt; [デバイス (Device) ] を選択します。</li><li>2. [名前 (Name) ] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。</li><li>3. [スピードダイヤル (Speed Dials) ] をクリックします。</li><li>4. 固定短縮コードの番号とラベルを入力します。</li><li>5. [保存 (Save) ] をクリックします。</li></ol>
ファストダイヤルを設定する	<p>「<a href="#">Web でのファストダイヤルの設定</a>」(P.72) を参照してください。</p> <p>ファストダイヤルは、電話機からも設定できます。「<a href="#">電話機でのパーソナルディレクトリの使用方法</a>」(P.63) を参照してください。</p>



## Web での電話機サービスの設定

電話機サービスには、特別な電話機機能、ネットワーク データ、および Web ベースの情報（株式相場、映画情報など）が含まれます。電話機サービスにアクセスする前に、まず電話機サービスに登録する必要があります。

目的	ログインしてデバイスを選択した後の操作
サービスに登録する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. [ ユーザ オプション (User Options) ] &gt; [ デバイス (Device) ] を選択します。</li> <li>2. [ 名前 (Name) ] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。</li> <li>3. [ 電話サービス (Phone Services) ] をクリックします。</li> <li>4. [ 新規追加 (Add New) ] をクリックします。</li> <li>5. ドロップダウン リストからサービスを選択し、[ 次へ (Next) ] をクリックします。</li> <li>6. 可能な場合はサービス ラベルを変更したり追加のサービス情報を入力します (オプション)。</li> <li>7. [ 保存 (Save) ] をクリックします。</li> </ol>
サービスを検索する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. デバイスを選択します。</li> <li>2. [ 電話サービス (Phone Services) ] をクリックします。</li> <li>3. [ 検索 (Find) ] をクリックします。</li> </ol>
サービスを変更または解除する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. サービスを検索します。</li> <li>2. 1 つまたは複数のエントリを選択します。</li> <li>3. [ 選択項目の削除 (Delete Selected) ] をクリックします。</li> </ol>

目的	ログインしてデバイスを選択した後の操作
サービス名を変更する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. サービスを検索します。</li> <li>2. サービス名をクリックします。</li> <li>3. 情報を変更し、[保存 (Save)] をクリックします。</li> </ol>
電話機からサービスにアクセスする	<p>アプリケーション メニューおよびアプリケーション メニュー ボタン  を使用して、[サービス (Services)]、[メッセージ (Messages)]、および [ディレクトリ (Directories)] を選択します。</p> <p><b>(注)</b> 電話機で使用できるサービスは、電話機のシステム設定および登録したサービスによって異なります。詳細については、電話機のシステム管理者にお問い合わせください。</p> <p><b>(注)</b> 設定されているサービスが 1 つだけの場合、そのサービスがデフォルトで開きます。設定されているサービスが複数の場合、スクリーンのメニューからサービスを選択します。</p>

## Web でのユーザ設定の制御

ユーザ設定には、パスワード、PIN、および言語 (ロケール) の設定が含まれます。

目的	ログイン後に必要な操作
パスワードを変更する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. [ユーザ オプション (User Options)] &gt; [ユーザ設定 (User Settings)] を選択します。</li> <li>2. [ブラウザのパスワード (Browser Password)] 領域に情報を入力します。</li> <li>3. [保存 (Save)] をクリックします。</li> </ol>
PIN を変更する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. [ユーザ オプション (User Options)] &gt; [ユーザ設定 (User Settings)] を選択します。</li> <li>2. [電話の PIN (Phone PIN)] 領域に情報を入力します。</li> <li>3. [保存 (Save)] をクリックします。</li> </ol>

目的	ログイン後に必要な操作
ユーザ オプションページの言語 (ロケール) を変更する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. [ユーザ オプション (User Options)] &gt; [ユーザ設定 (User Settings)] を選択します。</li> <li>2. [ユーザ ロケール (User Locale)] 領域で、[ロケール (Locale)] ドロップダウン リストから項目を選択します。</li> <li>3. [保存 (Save)] をクリックします。</li> </ol>
電話スクリーンの言語 (ロケール) を変更する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. [ユーザ オプション (User Options)] &gt; [ユーザ設定 (User Settings)] を選択します。</li> <li>2. [ユーザ ロケール (User Locale)] ドロップダウン リストから項目を選択します。</li> <li>3. [保存 (Save)] をクリックします。</li> </ol>

## ヒント

PIN およびパスワードを使用すると、さまざまな機能やサービスにアクセスできます。たとえば、PIN は、電話機で Cisco エクステンション モビリティまたはパーソナルディレクトリにログインするために使用します。パスワードは、パーソナル コンピュータでユーザ オプション Web ページおよび Cisco WebDialer にログインするために使用します。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

## Web での回線設定の制御

回線の設定は、電話機の特定の電話回線 (電話番号) に影響します。回線の設定には、コール転送、ボイス メッセージのインジケータ、呼出音のパターン、回線ラベルなどが含まれます。

次のような他の回線の設定値は、電話機で直接設定できます。

- プライマリ電話回線のコール転送を設定する：「別の電話番号へのコールの転送」(P.24) を参照してください。
- 呼出音、表示、およびその他の電話機モデルに固有の設定を変更する：「電話機の設定の変更方法」(P.53) を参照してください。

目的	ログイン後に必要な操作
回線ごとのコール転送を設定する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. [ ユーザ オプション (User Options) ] &gt; [ デバイス (Device) ] を選択します。</li> <li>2. [ 名前 (Name) ] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。</li> <li>3. [ 回線の設定 (Line Settings) ] をクリックします。</li> <li>4. [ 着信コールの転送 (Incoming Call Forwarding) ] 領域で、コール転送設定を選択して、さまざまな条件を設定します。</li> <li>5. [ 保存 (Save) ] をクリックします。</li> </ol>
回線ごとにボイス メッセージのインジケータの設定を変更する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. [ ユーザ オプション (User Options) ] &gt; [ デバイス (Device) ] を選択します。</li> <li>2. [ 名前 (Name) ] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。</li> <li>3. [ 回線の設定 (Line Settings) ] をクリックします。</li> <li>4. [ メッセージ受信ランプ (Message Waiting Lamp) ] 領域で、さまざまな設定から選択します。</li> </ol> <p data-bbox="365 743 1214 831"><b>(注)</b> 通常、デフォルトのメッセージ受信設定の場合、電話機で受話器のライト ストリップのランプが赤色に点灯することにより、新しいボイス メッセージがあることを示します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>5. [ 保存 (Save) ] をクリックします。</li> </ol>

目的	ログイン後に必要な操作
回線ごとにオーディオボイスメッセージインジケータの設定を変更する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. [ ユーザ オプション (User Options) ] &gt; [ デバイス (Device) ] を選択します。</li> <li>2. [ 名前 (Name) ] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。</li> <li>3. [ 回線の設定 (Line Settings) ] をクリックします。</li> <li>4. [ オーディオメッセージ受信インジケータ (Audible Message Waiting Indicator) ] 領域で、さまざまな設定から選択します。</li> </ol> <p>(注) 通常、デフォルトのメッセージ受信設定の場合、電話機で受話器のライトストリップのランプが赤色に点灯することにより、新しいボイスメッセージがあることを示します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>5. [ 保存 (Save) ] をクリックします。</li> </ol>
電話スクリーンに表示される回線テキストラベルを変更または作成する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. [ ユーザ オプション (User Options) ] &gt; [ デバイス (Device) ] を選択します。</li> <li>2. [ 名前 (Name) ] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。</li> <li>3. [ 回線の設定 (Line Settings) ] をクリックします。</li> <li>4. [ 回線のテキストラベル (Line Text Label) ] 領域に、テキストラベルを入力します。</li> <li>5. [ 保存 (Save) ] をクリックします。</li> </ol> <p>(注) 2 バイト文字セットをサポートしていない電話機は、ASCII ラベルフィールドを使用します。</p>

## モバイル コネクト用の電話機とアクセス リストの設定

シスコ モバイル コネクトを使用する場合、デスクの電話機と同じ電話番号を使用してコールを発信および受信するために使用する携帯電話およびその他の電話機を追加する必要があります。これらの電話機は、リモート接続先と呼ばれます。また、アクセス リストを定義して、特定の番号からのコールを携帯電話に送信することを制限したり許可したりできます。

目的	ログイン後に必要な操作
アクセス リストを作成する	<ol style="list-style-type: none"><li>1. [ユーザ オプション (User Options)] &gt; [モビリティの設定 (Mobility Settings)] &gt; [アクセス リスト (Access Lists)] を選択します。</li><li>2. [新規追加 (Add New)] をクリックします。</li><li>3. アクセス リストを識別する名前と説明 (オプション) を入力します。</li><li>4. 指定されたコールをアクセス リストで許可するかブロックするかを選択します。</li><li>5. [保存 (Save)] をクリックします。</li><li>6. [メンバの追加 (Add Member)] をクリックし、電話番号またはフィルタをリストに追加します。</li><li>7. [フィルタ マスク (Filter Mask)] ドロップダウン リストボックスからオプションを選択します。電話番号、制限付きの発信者 ID (使用不可) が表示されたコール、または匿名の発信者 ID (非通知) が表示されたコールをフィルタリングできます。</li><li>8. [フィルタ マスク (Filter Mask)] ドロップダウン リストボックスから電話番号を選択する場合、[DN マスク (DN Mask)] フィールドに電話番号またはフィルタを入力します。フィルタの定義には、次のワイルドカードが使用できます。<ul style="list-style-type: none"><li>- <b>X</b> (大文字または小文字) : 数字 1 字に一致します。たとえば、408555123X は 4085551230 から 4085551239 までのすべての番号に一致します。</li><li>- <b>!</b> : 任意の桁の数字に一致します。たとえば、408! は 408 で始まるすべての番号に一致します。</li><li>- <b>#</b> : 完全一致する数字 1 字として使用します。</li></ul></li><li>9. アクセス リストにこのメンバを追加するには、[保存 (Save)] をクリックします。</li><li>10. アクセス リストを保存するには、[保存 (Save)] をクリックします。</li></ol>


目的	ログイン後に必要な操作
新しいリモート接続先を追加する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. [ ユーザ オプション (User Options) ] &gt; [ モビリティ設定 (Mobility Settings) ] &gt; [ リモート接続先 (Remote Destinations) ] を選択します。</li> <li>2. [ 新規追加 (Add New) ] をクリックします。</li> <li>3. 次の情報を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>– 名前 (Name) : 携帯電話 (またはその他の電話) の名前を入力します。</li> <li>– 接続先番号 (Destination Number) : 携帯電話の番号を入力します。</li> </ul> </li> <li>4. ドロップダウン リストボックスからリモート接続先のプロファイルを選択します。リモート接続先のプロファイルには、作成するリモート接続先に適用する設定が含まれています。</li> <li>5. [ 携帯電話 (Mobile Phone) ] チェックボックスを選択します。デスクトップの電話機から発信されたコールをリモート接続先で受信できるようになります。</li> <li>6. [ モバイル コネクトの有効化 (Enable Mobile Connect) ] チェックボックスを選択します。デスクトップの電話機と同時にリモート接続先でも呼出音が鳴るようになります。</li> <li>7. [ 呼び出しスケジュール (Ring Schedule) ] 領域で、次のいずれかのオプションを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>– [ すべての時間 (All the time) ] : リモート接続先の呼び出しについて曜日や時間帯の制限を設けない場合にこのオプションを選択します。</li> <li>– [ 以下に指定 (As specified below) ] : 曜日や時間帯で呼び出しスケジュールを設定する場合は、このオプションを選択後、次の項目から選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• リモート接続先を呼び出す曜日のチェックボックスをオンにします。</li> <li>• 曜日ごとに [ 終日 (All Day) ] を選択するか、ドロップダウン リストから開始時間と終了時間を選択します。</li> <li>• ドロップダウン リストボックスからタイムゾーンを選択します。</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>8. 次のいずれかの呼び出しオプションを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>– 常にこの接続先を呼び出す。</li> <li>– 選択した許可アクセス リストに発信者が含まれる場合にのみ、この接続先を呼び出す。</li> <li>– 選択したブロック アクセス リストに発信者が含まれる場合、この接続先を呼び出さない。</li> </ul> </li> </ol> <p>(注) 呼び出しスケジュールのドロップダウン リスト ボックスには、作成したアクセス リストだけが表示されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>9. [ 保存 (Save) ] をクリックします。</li> </ol>

# Cisco WebDialer の使用方法

Cisco WebDialer を使用すると、Web ブラウザで項目をクリックすることで、ディレクトリ内の連絡先へのコールを Cisco Unified IP Phone で発信できます。システム管理者は、この機能を設定する必要があります。

目的	必要な操作
ユーザ オプションディレクトリで WebDialer を使用する	<ol style="list-style-type: none"><li>1. ユーザ オプション Web ページにログインします。「<a href="#">ユーザ オプション Web ページへのアクセス</a>」(P.69) を参照してください。</li><li>2. [ユーザ オプション (User Options)] &gt; [ディレクトリ (Directory)] を選択し、同僚を検索します。</li><li>3. ダイヤルする番号をクリックします。</li><li>4. WebDialer を初めて使用する場合は、[コールの開始 (Make Call)] ページで初期設定を行います。</li><li>5. [ダイヤル (Dial)] をクリックします (今後このページを表示しないようにする方法については、この表の最後の項目を参照)。 これで電話機からコールが発信されます。</li><li>6. コールを終了するには、[コールの終了 (Hangup)] をクリックするか、電話機から切断します。</li></ol>
別のオンライン社内ディレクトリ (ユーザのユーザ オプションディレクトリではないもの) で WebDialer を使用する	<ol style="list-style-type: none"><li>1. WebDialer が有効な社内ディレクトリにログインし、同僚を検索します。</li><li>2. ダイヤルする番号をクリックします。</li><li>3. プロンプトが表示されたら、ユーザ ID とパスワードを入力します。</li><li>4. WebDialer を初めて使用する場合は、[コールの開始 (Make Call)] ページで初期設定を行います。</li><li>5. [ダイヤル (Dial)] をクリックします (今後このページを表示しないようにする方法については、この表の最後の項目を参照してください)。 これで電話機からコールが発信されます。</li><li>6. コールを終了するには、[コールの終了 (Hangup)] をクリックするか、電話機から切断します。</li></ol>



目的	必要な操作
WebDialer からログアウトする	コールの開始ページまたはコールの終了ページのログアウト アイコンをクリックします。
WebDialer の初期設定を設定、表示、または変更する	<p>[ コールの開始 (Make Call) ] ページにアクセスします。</p> <p>[ コールの開始 (Make Call) ] ページは、WebDialer を初めて使用するとき (ダイヤルする番号をクリックした後) に表示されます。</p> <p>[ コールの開始 (Make Call) ] ページには、次のオプションがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [ 優先する言語 (Preferred language) ] : WebDialer の設定およびプロンプトで使用する言語を指定します。</li> <li>• [ 優先するデバイスを使用する (Use preferred device) ] : WebDialer コールを発信するときに使用する Cisco Unified IP Phone (発信デバイス) および電話番号 (発信デバイス) (回線) を特定します。1 本の回線を持つ電話機を 1 台だけ使用している場合は、適切な電話機と回線が自動的に選択されます。それ以外の場合は、電話機または回線、あるいはその両方を選択します。複数の電話機を使用している場合、デバイスの種類および MAC アドレスで指定します (電話機の MAC アドレスを表示するには、 &gt; [ 設定 (Settings) ] &gt; [ ネットワークの設定 (Network Configuration) ] &gt; [ MAC アドレス (MAC address) ] を選択します)。</li> </ul> <p><b>(注)</b> エクステンション モビリティ プロファイルがある場合、発信デバイスのメニューから、エクステンション モビリティ ログイン デバイスを選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [ コールの確認ダイアログを表示しない (Do not display call confirmation) ] : 選択した場合、WebDialer がコールの開始ページを表示しないように要求されます。デフォルトでは、このページは、WebDialer が有効なオンライン ディレクトリの電話番号をクリックした後に表示されます。</li> <li>• [ 自動終了の無効化 (Disable Auto Close) ] : これを選択すると、コールウィンドウが 15 秒後に自動的に閉じられなくなります。</li> </ul>



## 追加の設定オプションについて

システム管理者は必要に応じて、特別なサービスや機能のほかに、特別なボタンやソフトキーのテンプレートを使用するように電話機を設定できます。次の表は、設定オプションの概要について説明しています。コールの需要や作業環境に応じたオプションの設定について、電話機のシステム管理者と相談するときに役立ちます。



**(注)** この表に記載されている電話ガイドとその他のマニュアルについては、次の Web サイトから入手できます。  
[http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/tsd\\_products\\_support\\_series\\_home.html](http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/tsd_products_support_series_home.html)  
 日本語版マニュアルを参照する場合は、次の URL にアクセスしてください。  
[http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual\\_j/index\\_ippt\\_ipp.shtml](http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual_j/index_ippt_ipp.shtml)

目的または状態	必要な操作	参照先または問い合わせ先
回線が処理できるコール数を増やす必要がある	回線がサポートするコール数を増やすように、システム管理者に設定を依頼します。	システム管理者または電話機のサポートチームにお問い合わせください。
秘書と仕事をしている、または自分が秘書である	共有回線を使用することを検討します。	「共有回線の使用」(P.36)を参照してください。
1つの内線を複数の電話機で使用する	共有回線が必要です。共有回線を使用することで、たとえば1つの内線番号をデスクの電話機と実験室の電話機で使用できます。	「共有回線の使用」(P.36)を参照してください。

目的または状態	必要な操作	参照先または問い合わせ先
<p>電話機やオフィススペースを同僚と共有している</p>	<p>次の機能の導入を検討してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• コールパーク：転送機能を使用せずにコールを保存、および取得できます。</li> <li>• コールピックアップ：別の電話機で鳴っているコールに応答できます。</li> <li>• 共有回線：同僚のコールを表示、またはそのコールに参加できます。</li> <li>• Cisco エクステンション モビリティ：共有の Cisco Unified IP Phone に自分の電話番号およびユーザ プロファイルを適用できます。</li> </ul>	<p>これらの機能については、システム管理者にお問い合わせください。また、次の説明を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「<a href="#">応用的なコール処理</a>」 (P.31)</li> <li>• 「<a href="#">共有回線の使用</a>」 (P.36)</li> <li>• 「<a href="#">Cisco エクステンション モビリティの使用</a>方法」 (P.43)</li> </ul>
<p>自分の電話番号と設定を共有の Cisco Unified IP Phone に一時的に適用する</p>	<p>Cisco エクステンション モビリティ サービスについてシステム管理者に問い合わせます。</p>	<p>「<a href="#">Cisco エクステンション モビリティの使用</a>方法」 (P.43) を参照してください。</p>

# 電話機のトラブルシューティング

この項では、ご使用の Cisco Unified IP Phone に関するトラブルシューティング情報を示します。

## 一般的なトラブルシューティング





この項では、ご使用の電話機に関する一般的な問題のトラブルシューティングに役立つ情報を示します。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

症状	説明
ダイヤル トーンが聞こえない、またはコールを完了できない	<p>次の状況の 1 つまたは複数当てはまります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• エクステンション モビリティ サービスにログインする必要があります。</li> <li>• 電話番号をダイヤルした後で、Client Matter Code (CMC; クライアント マター コード) または Forced Authorization Code (FAC) を入力する必要があります (SCCP 電話機のみ)。</li> <li>• 電話機に時間帯制限が設定され、特定の時間帯に一部の機能を使用できなくなっています。</li> </ul>
使用したいソフトキーが表示されない	<p>次の状況の 1 つまたは複数当てはまります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• その他のソフトキーを表示させるために [次へ (more)] を押す必要があります。</li> <li>• 回線の状態を変更する必要があります (オフフックにする、または接続コールにするなど)。</li> <li>• 電話機が、ソフトキーに関連付けられている機能をサポートするように設定されていません。</li> </ul>
[ 割込み (Barge) ] が失敗し、速いビジー音が聞こえる	<p>使用している電話機に暗号化機能が設定されていない場合、暗号化されたコールには割込みできません。この理由によって割込みの試行が失敗すると、電話機で速いビジー音が聞こえます。</p>
[ 割込み (Barge) ] を使用して参加したコールが切断される	<p>[ 割込み (Barge) ] を使用して参加したコールが保留状態になるか、転送されるか、または会議コールに切り替えられた場合は、そのコールから切断されます。</p>

症状	説明
[折返し (CallBack) ] が失敗する	通話相手がコール転送を有効にしている可能性があります。
不在転送を設定しようとする、電話機にエラーメッセージが表示される	不在転送を電話機から直接設定すると、設定が拒否される場合があります。設定が拒否されるのは、不在転送ループを招く転送先番号が入力された場合、または不在転送チェーンで許可された最大リンク数（最大ホップカウントとも呼ばれます）を超えることになる転送先番号が入力された場合です。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

## 電話機の管理データの表示

システム管理者が、トラブルシューティングの目的で、電話機の管理データへのアクセスを指示する場合があります。

目的	必要な操作
ネットワーク構成データにアクセスする	 を押して、[設定 (Settings) ] > [ネットワークの設定 (Network Configuration) ] を選択し、表示するネットワーク設定項目を選択します。
ステータス データにアクセスする	 を押して、[設定 (Settings) ] > [ステータス (Status) ] を選択し、表示するステータス項目を選択します。
電話機のモデル情報にアクセスする	 を押して、[設定 (Settings) ] > [モデル情報 (Model Information) ] を選択します。
電話機のコールおよび音声品質情報にアクセスする	 を押して、[設定 (Settings) ] > [ステータス (Status) ] > [コール統計 (Call Statistics) ] を選択します。

## 品質レポート ツールの使用

パフォーマンスに関する問題のトラブルシューティングに役立てるために、システム管理者により一時的に、電話機に Quality Reporting Tool (QRT; 品質レポート ツール) が設定されることがあります。[品質 (QRT) ] を押すと、システム管理者に情報を送信できます。設定に応じて、QRT は次の用途に使用します。

- 現在のコールのオーディオに関する問題をすぐに報告する
- カテゴリのリストから一般的な問題を選択して、原因コードを選択する

# シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定

---

保証期間内にお客様が受けられるハードウェアの保証およびサービスに関して適用される特別な条件があります。シスコのソフトウェアに適用される保証およびライセンス契約を含む正式な保証書は、Cisco.com の次の URL で提供しています。

[http://www.cisco.com/en/US/docs/general/warranty/English/1Y1DEN\\_\\_.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/general/warranty/English/1Y1DEN__.html)





# Index

---

## A

ASCII ラベル フィールドのサポート [74](#)

## C

Cisco Unified IP Phone

SCCP [13](#)

SIP [13](#)

Web ベースのサービス [75](#)

機能設定 [13](#)

図 [9](#)

接続 [5](#)

登録 [7](#)

トラブルシューティング [87](#)

ハンドセット受け台の取り付け [7](#)

プロトコル [13](#)

マニュアル [2](#)

Cisco WebDialer [82](#)

Cisco エクステンション モビリティ [43](#)

Cisco エクステンション モビリティ機能、使用 [17](#)

CMC [87](#)

## E

EM [43](#)

## F

FAC [87](#)

Forced Authorization Code

「FAC」を参照 [17](#)

## M

Malicious Call Identification

「迷惑呼 ID」を参照

MLPP、使用 [41](#)

## P

PAB

Web ページからの使用 [71](#)

ダイヤル [16](#)

電話機での使用 [63](#)

PIN [43](#)

PIN、変更 [76](#)

## S

SCCP (Skinny Call Control Protocol) [13](#)

SIP (Session Initiation Protocol) [13](#)

## T

TABSynch **73**

TAPS **7**

Tool for Auto-Registered Phones Support **7**

## W

WebDialer **82**

Web ベースのサービス

設定 **70**

「ユーザ オプション Web ページ」も参照

## あ

アイコン、コール状態の **11**

アドレス帳同期ツール **73**

アプリケーション メニュー、使用 **12**

アプリケーション メニュー ボタン **10**

暗号化されたコール **39**

安全なコール **39**

安全に関する警告 **2**

## え

エクステンション モビリティ **43**

EM **43**

## お

応答、コールへの **18**

音質 **8**

オフフック ダイアル **15**

折り返し **16**

オンフック ダイアル **15**

音量

電話機の呼出音の **54**

ハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカ  
の **49, 50**

音量ボタンの図 **10**

## か

会議

セキュア **39**

セキュリティのレベル **39**

会議コール

参加者の削除 **30**

参加者の表示 **30**

種類 **27**

セキュリティ レベル **30**

ミーティング **29**

回線

共有 **36**

コールとの違い **11**

サポートされるコール数 **11, 85**

説明 **11**

外部デバイス、使用 **3**

## き

キーパッドの説明 **10**

機能、アベイラビリティ **13**

共有回線

およびリモートで使用中のアイコン **36**

プライバシーの使用 **38**

割り込みの使用 **37**

切り替え、コールの **21**  
切り替え、複数のコール間 **21**

## く

クライアント マター コード  
「CMC」を参照  
グリーティング **19**  
グループのコール ピックアップ **33**  
グループ リッスン **49**

## け

警告、安全 **2**  
言語（ロケール）設定 **77**

## こ

コール  
アイコン **11**  
安全 **39**  
応答 **18**  
会議機能 **27**  
回線ごとの最大数 **11**  
回線との違い **11**  
終了 **20**  
処理、複数 **18**  
転送 **23, 24**  
パーク **34**  
発信 **15**  
表示 **10, 22**  
複数、切り替え **21**  
複数の参加者 **27**

保存と取得 **34**  
保留と再開 **20**  
モニタリング **49**  
問題のレポート **88**  
優先順位付け **41**  
呼び出し中のリダイレクト **18, 33**  
割り込み **37**  
割り込みの防止 **38**  
コール処理  
応用的 **31**  
基本 **15**  
コール待機 **18**  
コール転送 **24**  
電話機での設定 **25**  
コール パーク **19, 34**  
コール ピックアップ **19, 33**  
国際コールのロギング **16, 60, 65**  
個人アドレス帳  
「PAB」を参照

## さ

サービス、登録 **75**  
サイレント **25**  
サイレント（DND） **25**

## し

シグナリング プロトコル **13**  
自動応答 **19**  
自動ダイヤル **15**  
社内ディレクトリ  
Web ページからのダイヤル **16**

電話機での使用	61
終了、コール、オプション	20
詳細ソフトキーが表示されるマルチパーティ コール	58

ダイヤルのオプション	15
短縮ダイヤル	31
短縮ダイヤル (オフフック)	32

## す

スピーカ	
使用	20
スピーカを使用した応答	19
スピーカ、使用	49
スピードダイヤル	
設定	31
ラベル	74

## せ

セキュア会議	30
セキュリティ、コールの	39
セッション ハンドオフ	21
切断のオプション	20
設置、Cisco Unified IP Phone	5
設定、カスタマイズ	53

## そ

ソフトキー ボタンの説明	10
--------------	----

## た

ダイヤル オプション	
基本	15
その他	16

## ち

着信履歴のレコード	57
-----------	----

## て

ディレクトリ	
Web ページからの使用	82
社内	61
電話機での使用	57
パーソナル	63
デバイス設定ページ	70
転送	
オプション	23
転送、コールの、オプション	24
電話回線の説明	11
電話機サービス	
設定	70
「ユーザ オプション Web ページ」も参照	

## と

登録、電話機サービスの 共用回線	75
説明	36
トラブルシューティング	
QRT	88
全般	87

## な

ナビゲーション ボタンの図 **10**

## に

認証されたコール **39**

## は

パーク、コールの **19**

パーソナル ディレクトリ

Web ページからの使用 **70**

電話機での使用 **63**

パスワード、変更 **76**

発信 **15, 16**

発信、コールの、オプション **15**

発信者 ID **10**

発信履歴のレコード **57**

ハンズフリーで音声を聞く **49**

ハント グループ

説明 **35**

ログアウト **36**

ハンドセット

受け台への取り付け **7**

使用 **49, 50**

ライト ストリップ **10**

## ひ

品質 **88**

品質レポート ツール **88**

## ふ

ファスト ダイアル

Web ページからの設定 **64**

電話機での使用 **63**

複数のコール、処理 **18, 22**

不在履歴のレコード **57**

不審なコール、トレース **41**

復帰、コール **20**

プライバシー

および共有回線 **36**

使用 **38**

プレダイアル **15**

## へ

ヘッドセット

パフォーマンス **8**

パフォーマンス、全般 **7**

ヘルプ、使用 **12**

## ほ

ボイス メッセージ、アクセス **67**

ボイス メッセージ インジケータ

説明 **67**

ボタン、特定 **9**

保留

およびコールの切り替え **21**

および転送 **23**

使用 **20**

保留状態のコールの復帰 **20**

保留復帰 **20**

保留復帰インジケータ **20**

保留ボタンの図 **10**

## ま

マニュアル、アクセス **2**

マルチパーティ コール

詳細の表示 **58**

履歴からの特定 **58**

## み

ミーティング会議 **29**

ミュート

ミュート解除 **21**

## め

迷惑呼 **41**

メッセージ

インジケータ **54**

聞く **67**

メニュー、使用方法 **12**

## も

モニタリング、コール **49**

モバイル コネクト

着信のモバイル コールをリモート接続先に転送する **45**

有効化 **81**

リモート接続先へのアクセス **46**

## ゆ

ユーザ オプション Web ページ

アクセス **69**

機能とサービスの設定 **70**

電話機サービスへの登録 **75**

優先順位付け、コールの **41**

## よ

呼出音

インジケータ **10**

音量 **54**

カスタマイズ **54**

呼出音、変更 **53**

呼び出しスケジュール、リモート接続先の **81**

## り

リダイヤル **15**

リモート接続先

アクセスの無効化 **46**

呼び出しスケジュール **81**

リモートで使用中のアイコン、共有回線の **36**

履歴

削除 **57**

ダイヤル **15**

表示とダイヤル **57**

## ろ

ログアウト、ハント グループからの **36**

## わ

### 割り込み

- および共有回線 **36**
- およびプライバシー **38**
- 使用 **37**







---

シスコは世界各国 200 箇所にオフィスを開設しています。

各オフィスの住所、電話番号、FAX 番号は当社の Web サイト ([www.cisco.com/go/offices](http://www.cisco.com/go/offices)) をご覧ください。

Cisco and the Cisco Logo are trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the U.S. and other countries. A listing of Cisco's trademarks can be found at [www.cisco.com/go/trademarks](http://www.cisco.com/go/trademarks). Third party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1005R)

© 2010 Cisco Systems, Inc.  
All rights reserved.

Copyright © 2010–2011, シスコシステムズ合同会社。  
All rights reserved.



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255（フリーコール、携帯・PHS 含む）

電話受付時間：平日 10:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

OL-22336-01-J